

2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

2024年11月8日

株式会社 小森コーポレーション

Contents

1. 2025年3月期第2四半期業績および通期計画 (P4~38)
最高財務責任者 (CFO) 橋本 巖

2. 2025年3月期 上期経営概況 (P39~50)
代表取締役社長 (CEO) 持田 訓

2025年3月期 第2四半期 業績および通期計画

2024年11月8日

株式会社 小森コーポレーション

◆ 通期業績予想を修正

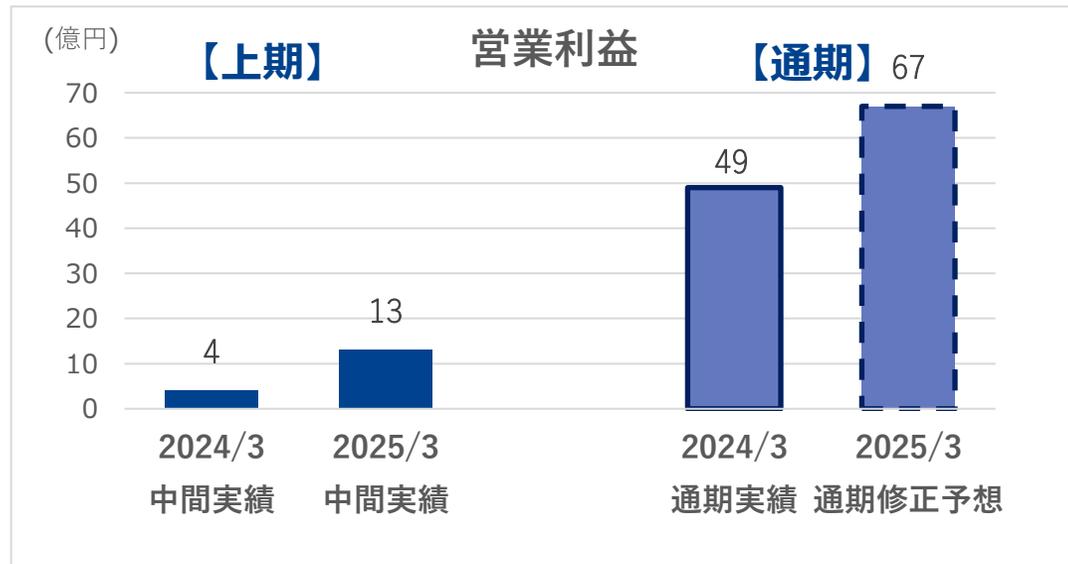
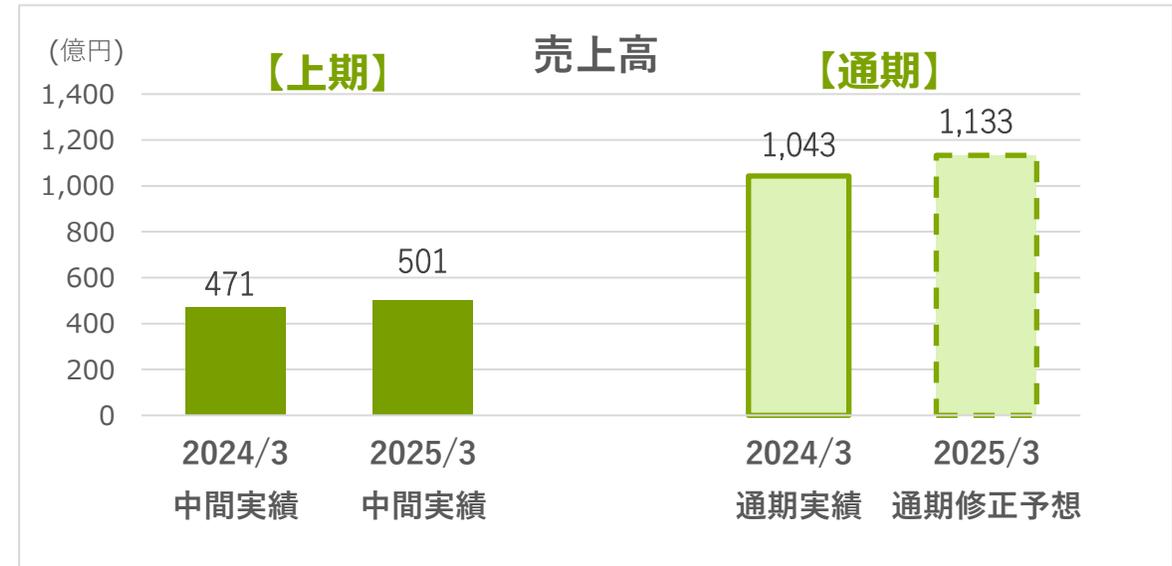
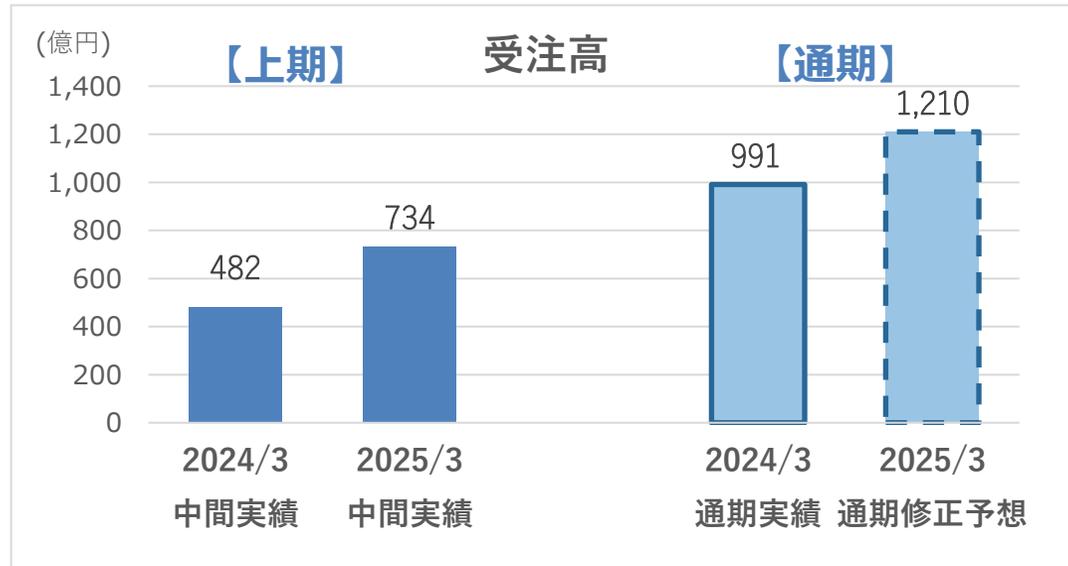
(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
前回発表 期初予想 2024年5月14日公表	1,094	58	54	58
今回修正予想 2024年10月31日公表	1,133	67	68	61

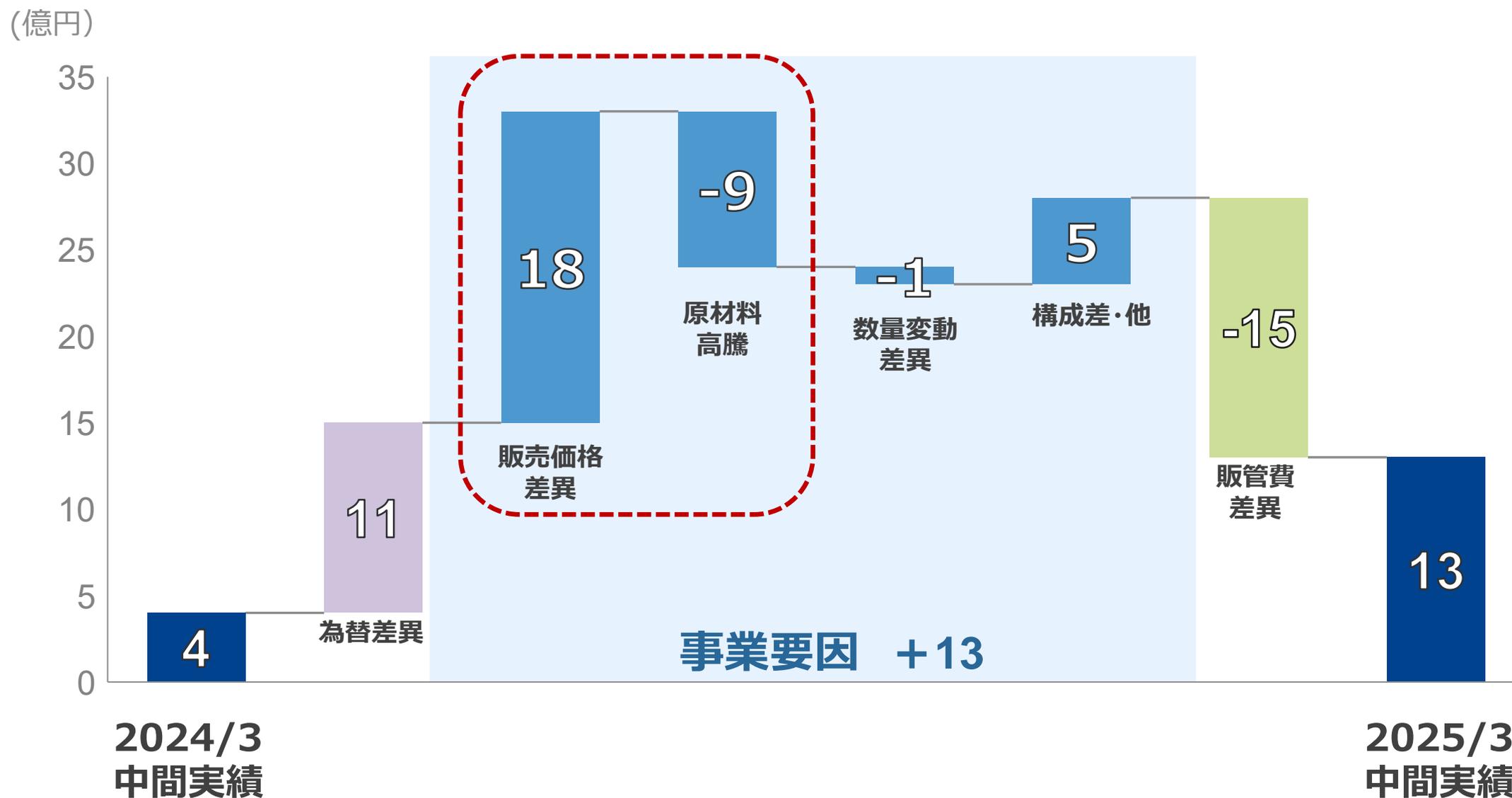
◆ 予想配当額の変更

(単位：円)

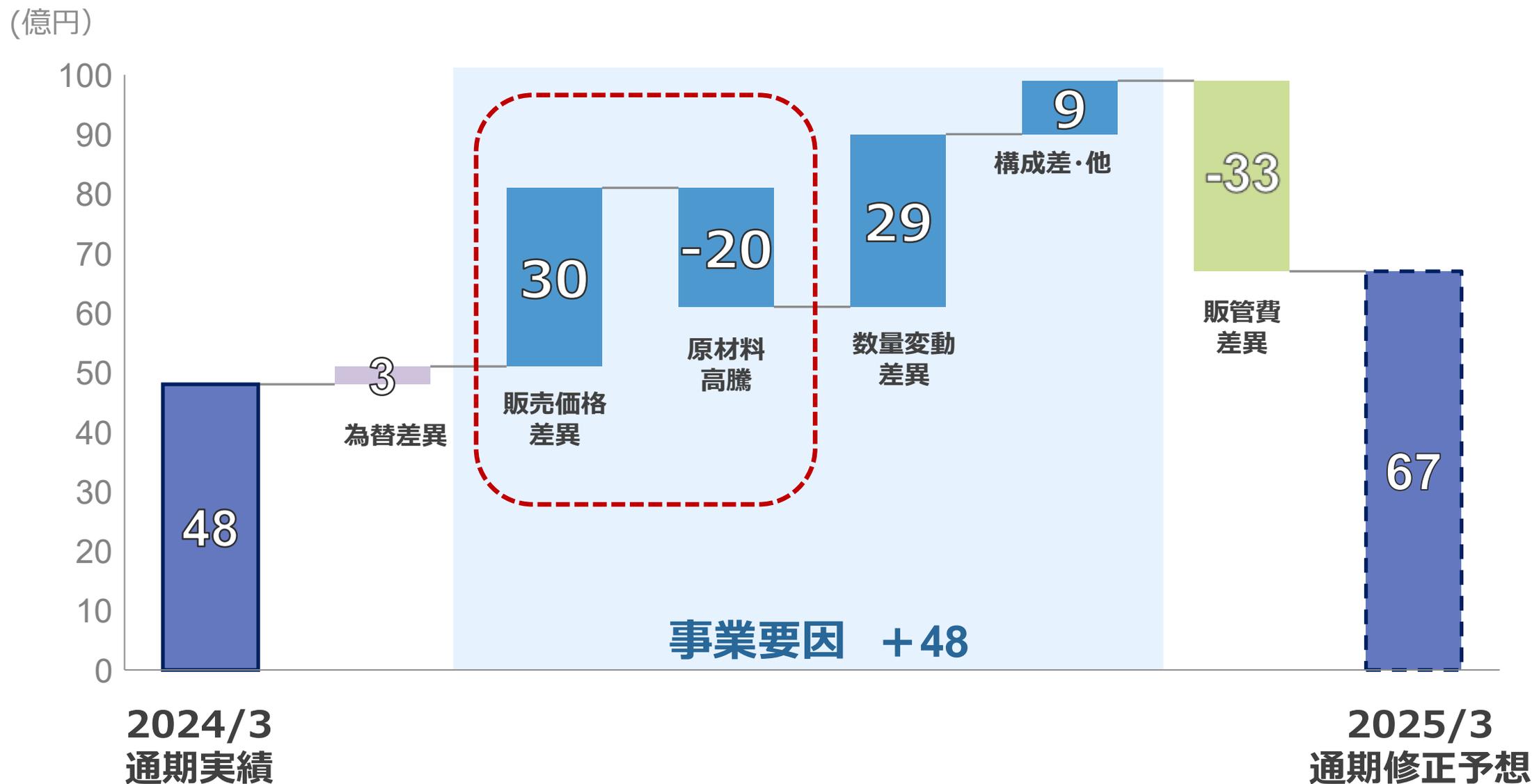
	中間期	期末	計
前回発表 期初予想 2024年5月14日公表	20	20	40
今回修正予想 2024年10月31日公表	20	30	50



営業利益（中間期の変動要因-対前年同期比）



営業利益（通期予想の変動要因-対前期比）



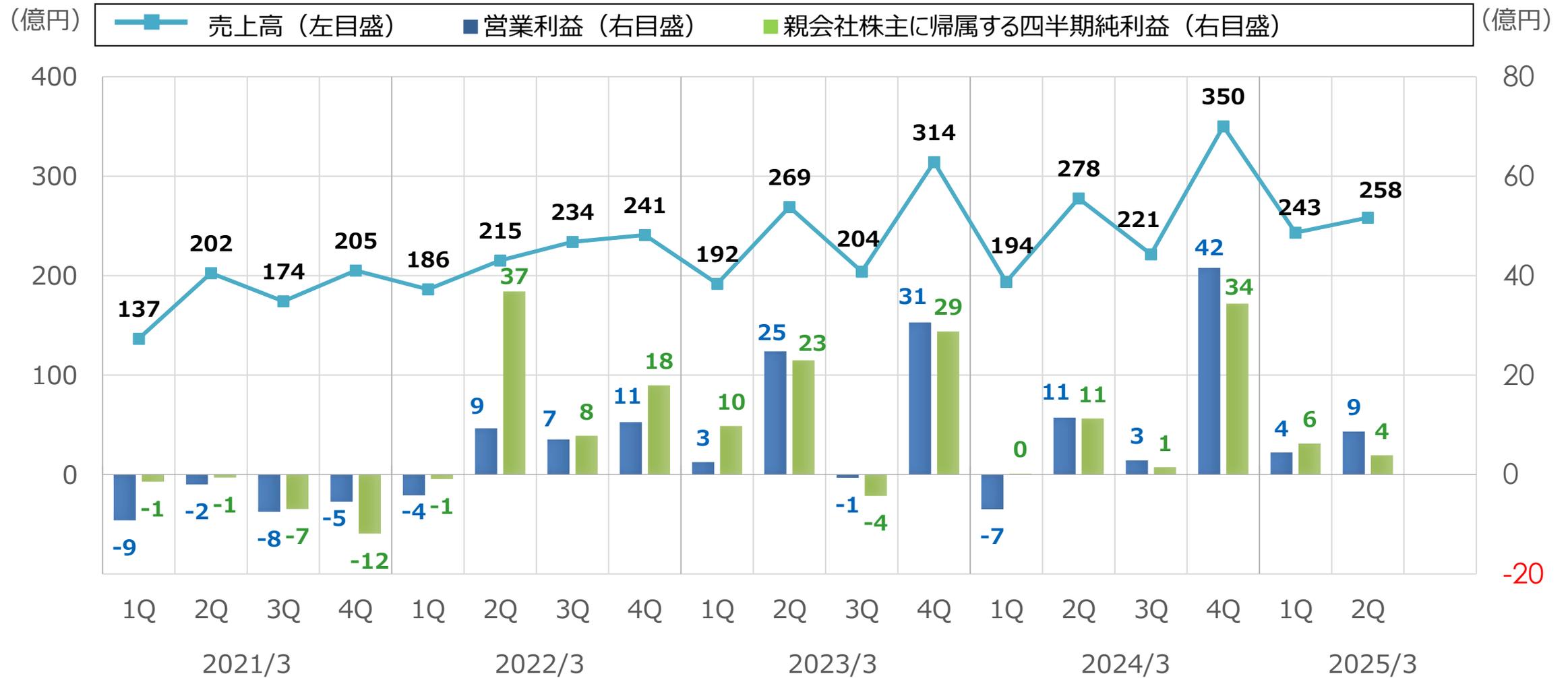
貸借対照表の状況について

(億円)

資産の部				負債の部			
	前期末 2024.3.31	中間期末 2024.9.30	差額		前期末 2024.3.31	中間期末 2024.9.30	差額
短期金融資産	506	513	+7	仕入債務	143	139	△3
売上債権	229	191	△39	短期借入金	6	6	△0
棚卸資産	419	434	+15	社債	100	100	0
うち製品	186	199	+13	長期借入金	2	1	△0
有形固定資産	187	197	+10	その他負債	280	301	+21
無形固定資産	13	22	+9	負債合計	531	548	+17
その他資産	321	291	△30	純資産の部			
				純資産	1,145	1,100	△45
資産合計	1,676	1,648	△28	負債・純資産合計	1,676	1,648	△28

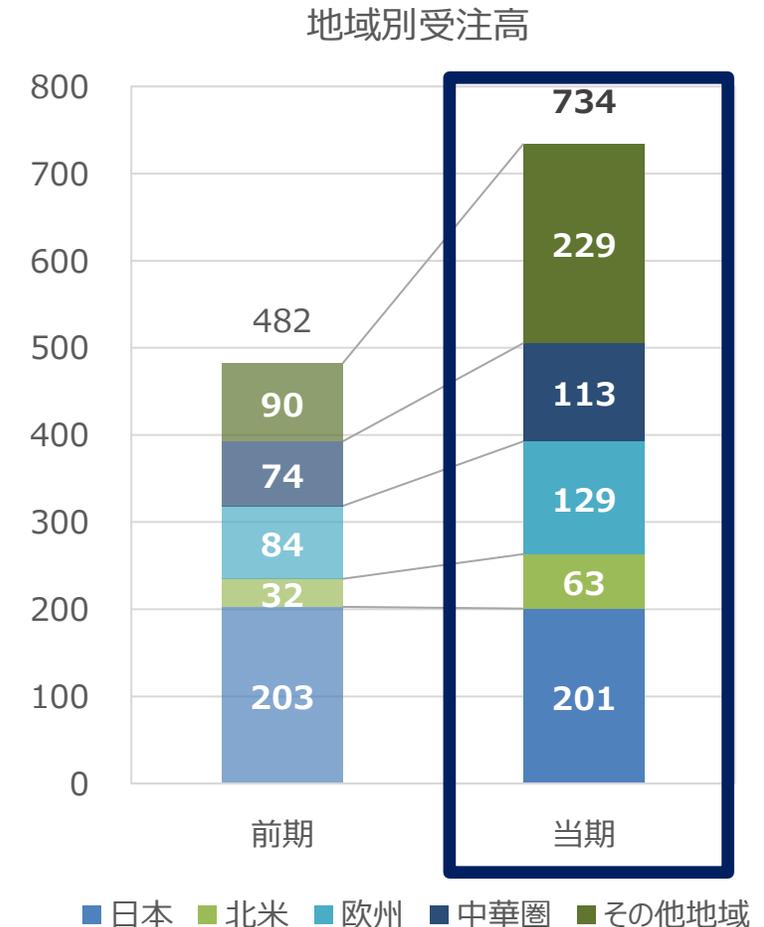
(単位：億円)

		2025/3 上期実績	2024/3 上期実績	差額	前年 同期比	2025/3 上期計画	差額	計画比
受注高		734	482	252	152%	611	123	120%
売上高		501	471	30	106%	502	△ 1	100%
営業利益		13	4	9	294%	12	1	109%
経常利益		14	20	△ 6	71%	7	7	201%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		10	11	△ 1	88%	5	5	201%
平均レート (円)	US\$	152.30	141.31	/		140.00	/	
	EUR	165.46	153.51			150.00		
期末レート (円)	US\$	142.73	149.58			140.00		
	EUR	159.43	158.00			150.00		

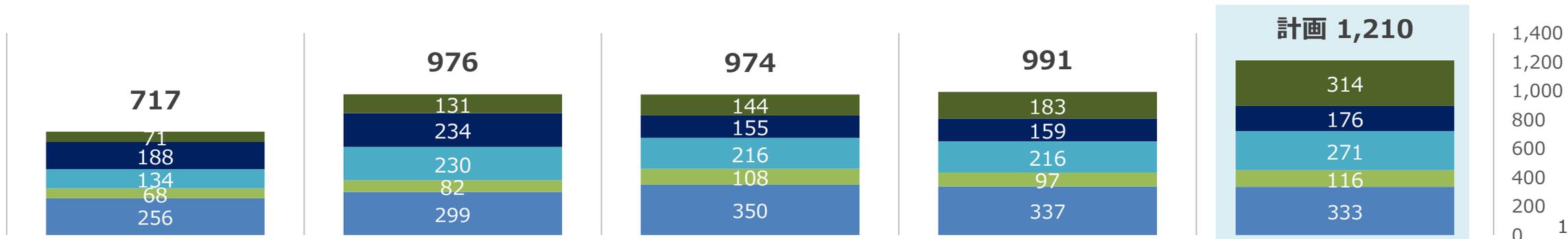
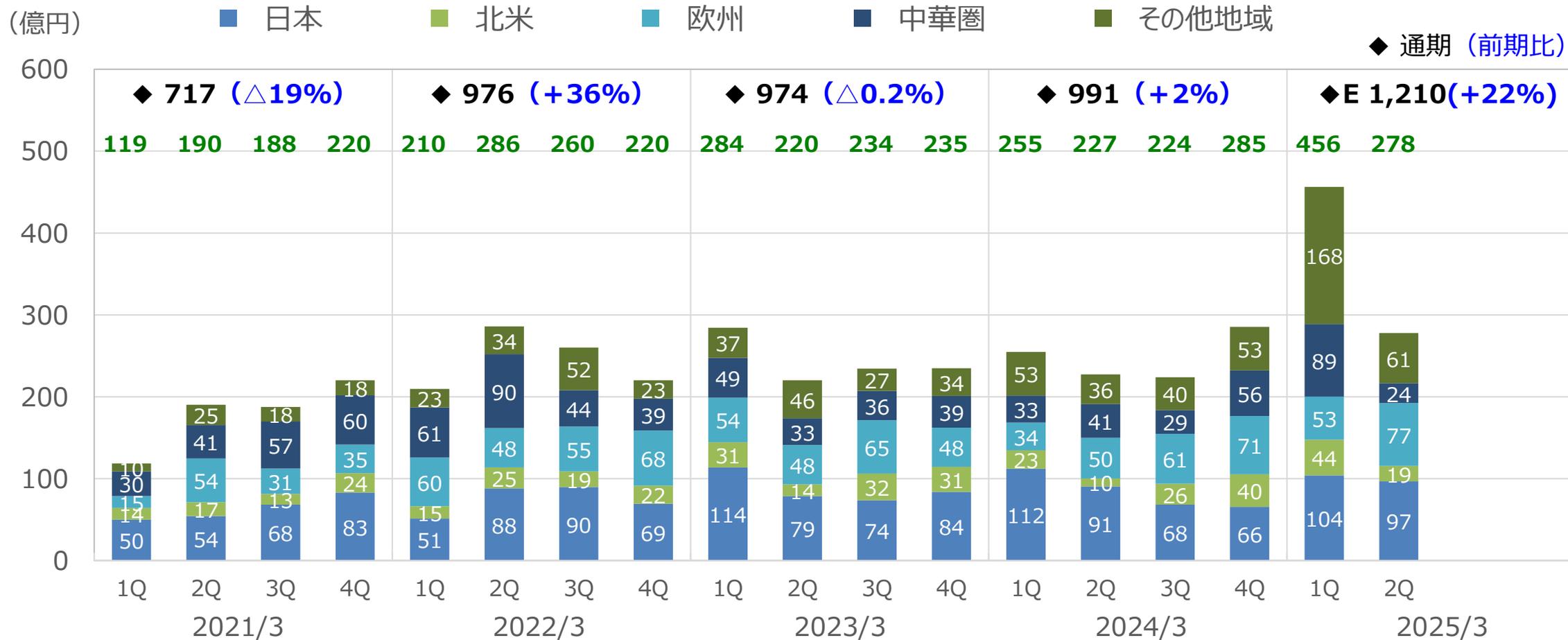


(単位：億円)

	2025/3 上期実績	2024/3 上期実績	前年 同期比
日本	201	203	99%
北米	63	32	195%
	(百万ドル)	(23)	(181%)
欧州	129	84	155%
	(百万ユーロ)	(54)	(144%)
中華圏	113	74	152%
その他地域	229	90	256%
合計	734	482	152%

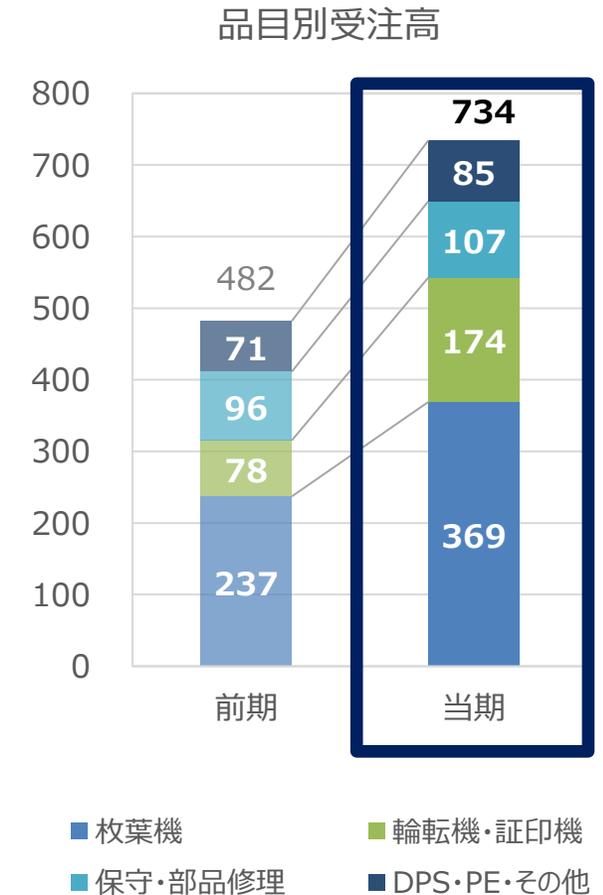


地域別受注高

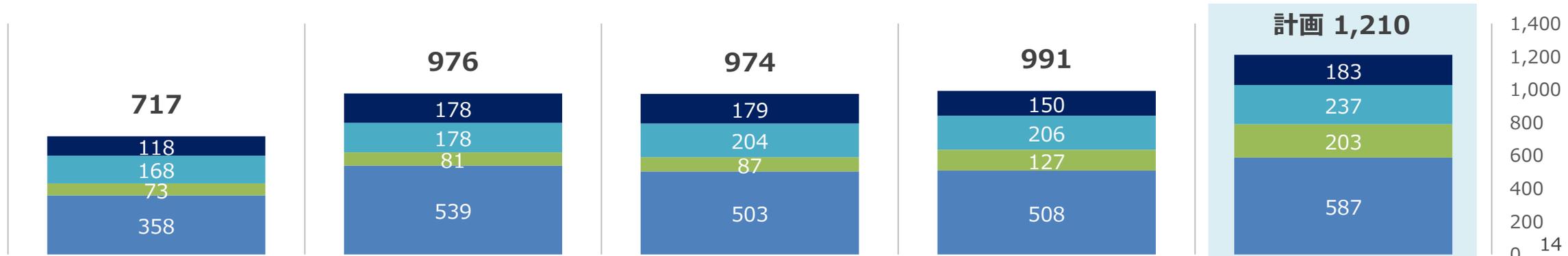
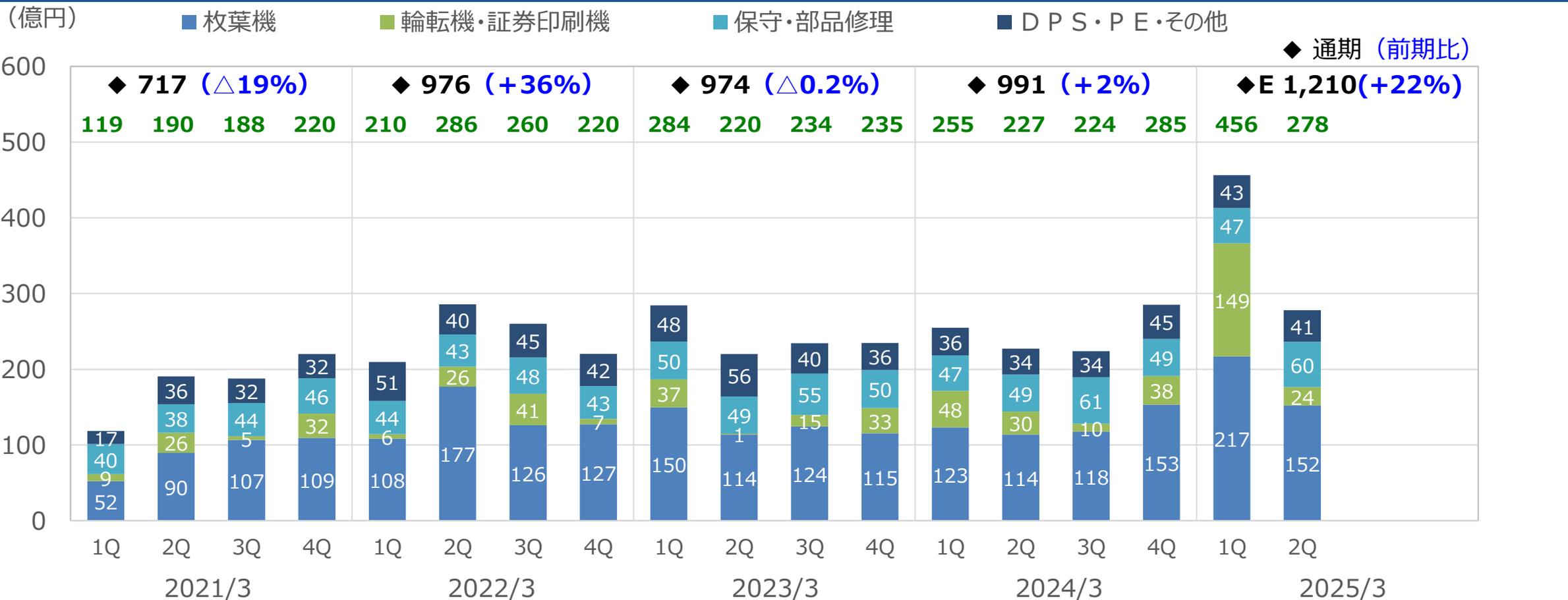


(単位：億円)

	2025/3 上期実績	2024/3 上期実績	前年 同期比
枚葉機	369	237	156%
輪転機・証券印刷機	174	78	222%
保守・部品修理	107	96	111%
DPS・PE・その他	85	71	120%
合計	734	482	152%

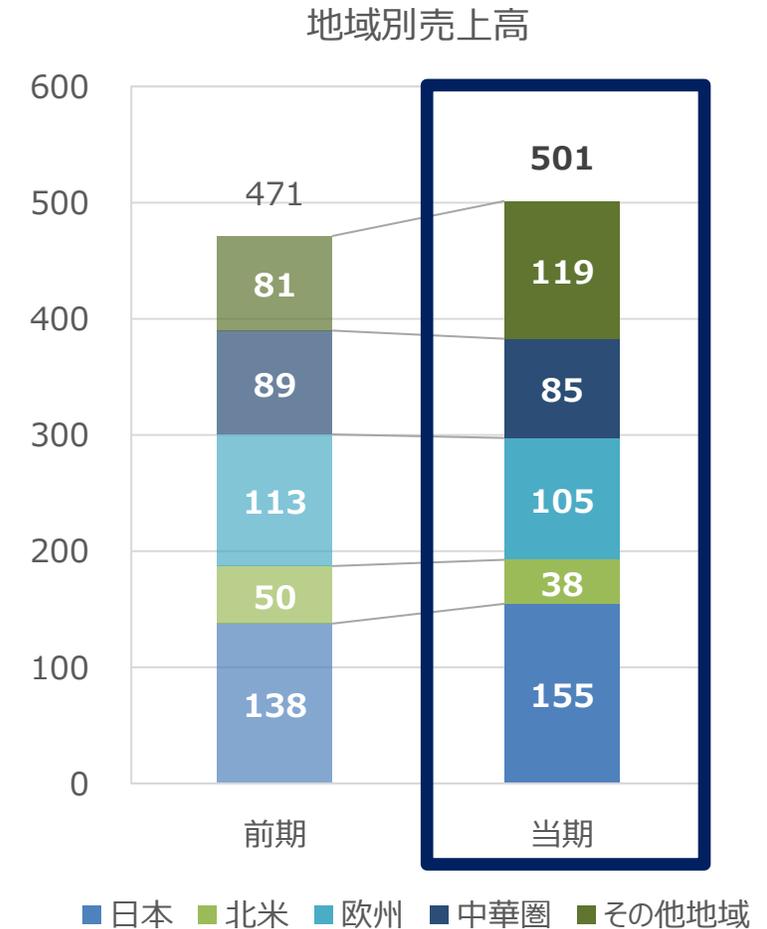


品目別受注高



(単位：億円)

		2025/3 上期実績	2024/3 上期実績	前年 同期比
日 本		155	138	112%
北 米		38	50	76%
	(百万ドル)	(25)	(35)	(71%)
欧 州		105	113	92%
	(百万ユーロ)	(63)	(74)	(86%)
中 華 圏		85	89	96%
そ の 他 地 域		119	81	146%
合 計		501	471	106%

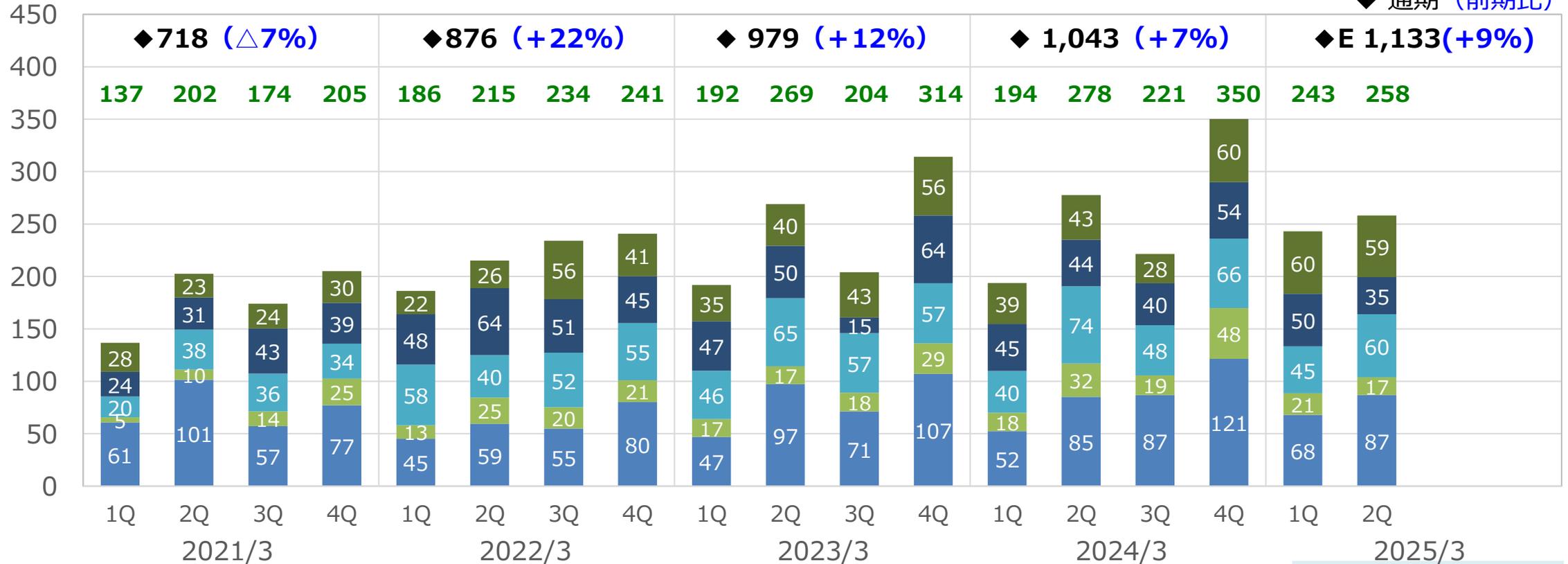


地域別売上高

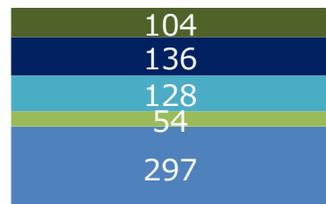
(億円)

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ その他地域

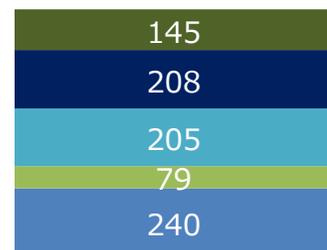
◆ 通期 (前期比)



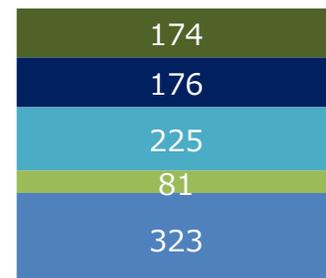
718



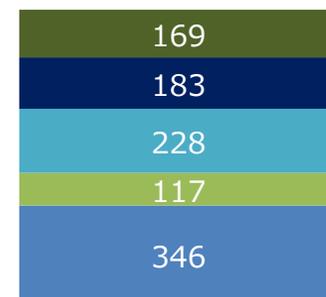
876



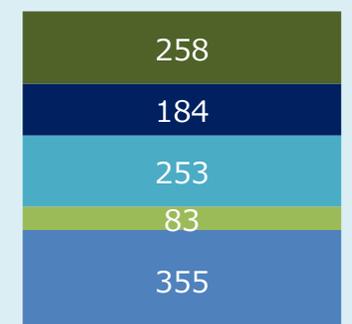
979



1,043



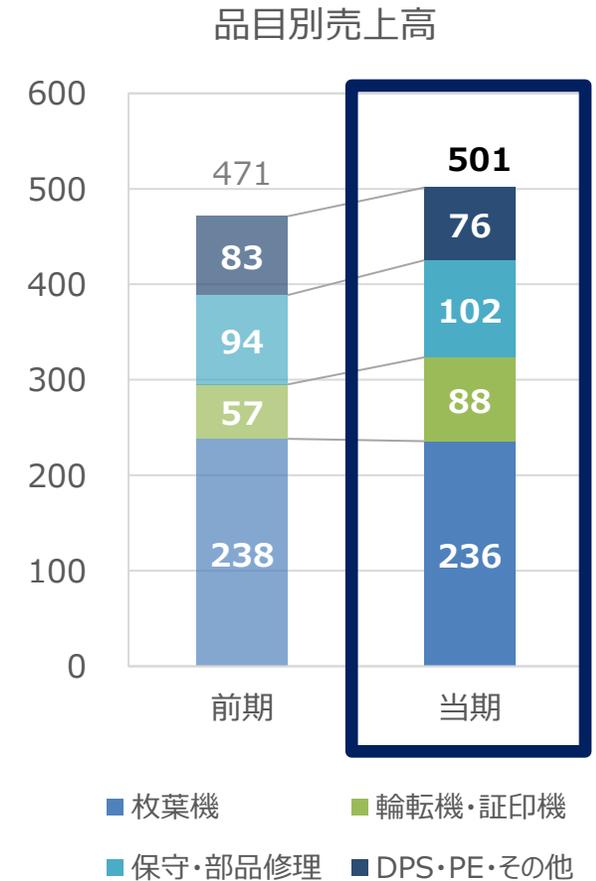
2025/3
計画 1,133



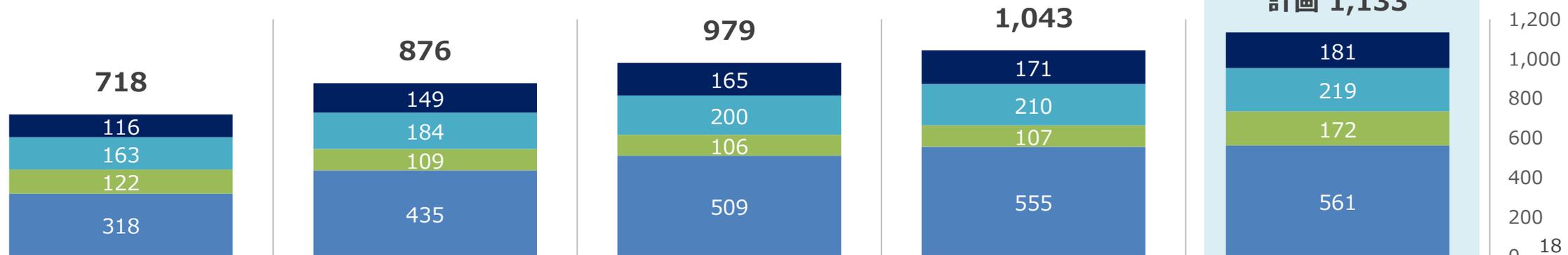
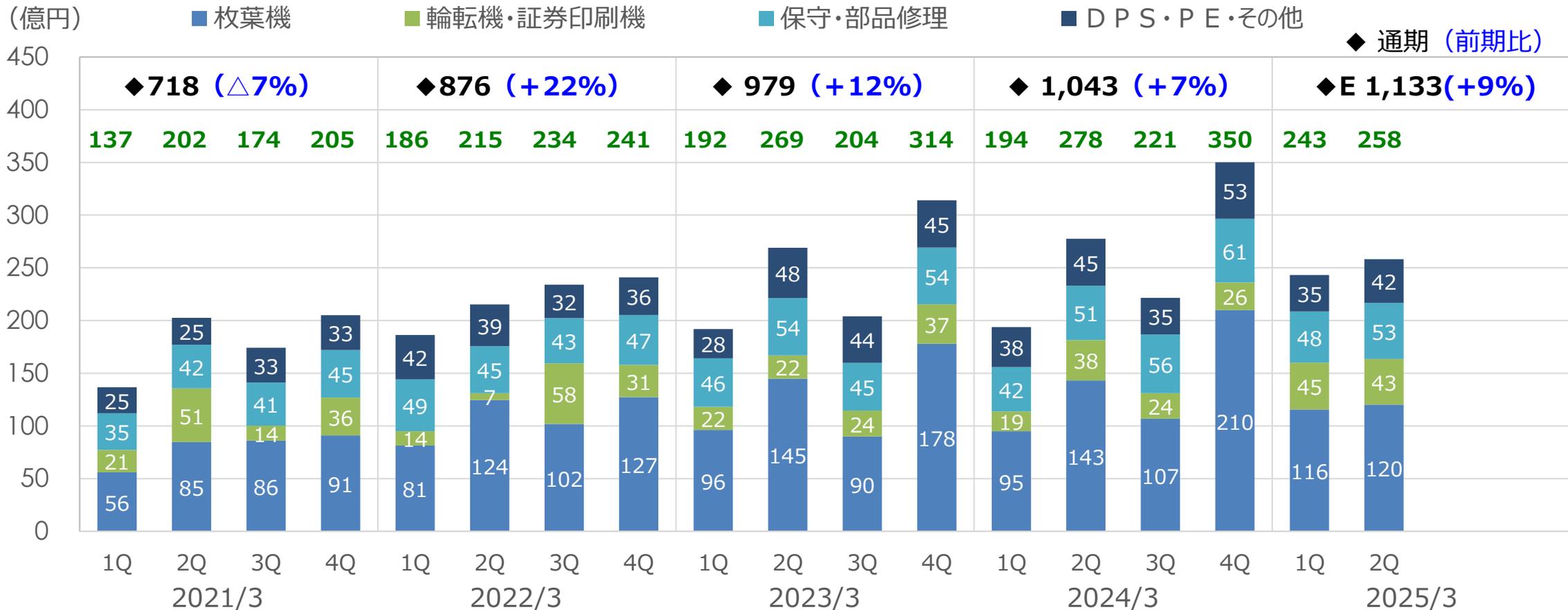
1,200
1,000
800
600
400
200
0

(単位：億円)

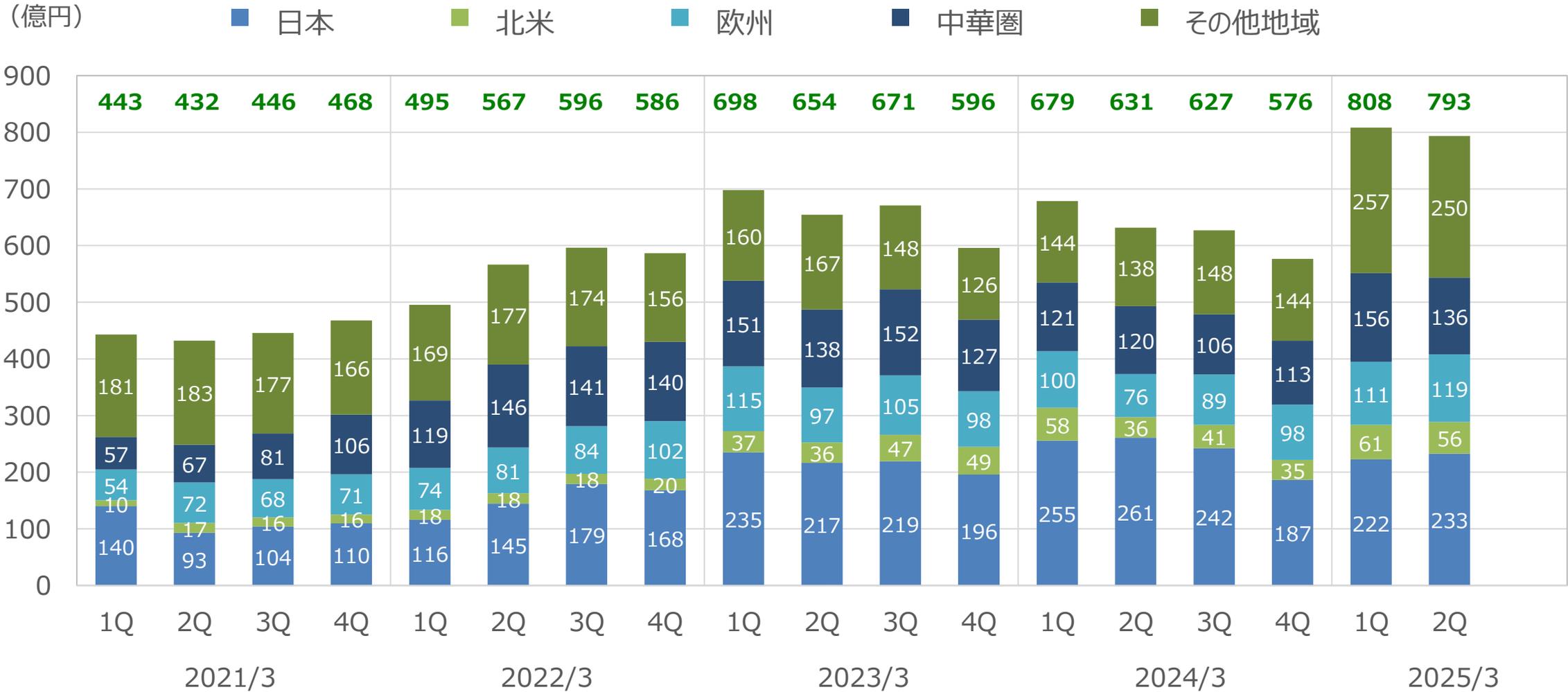
	2025/3 上期実績	2024/3 上期実績	前年 同期比
枚葉機	236	238	99%
輪転機・証券印刷機	88	57	154%
保守・部品修理	102	94	109%
DPS・PE・その他	76	83	92%
合計	501	471	106%

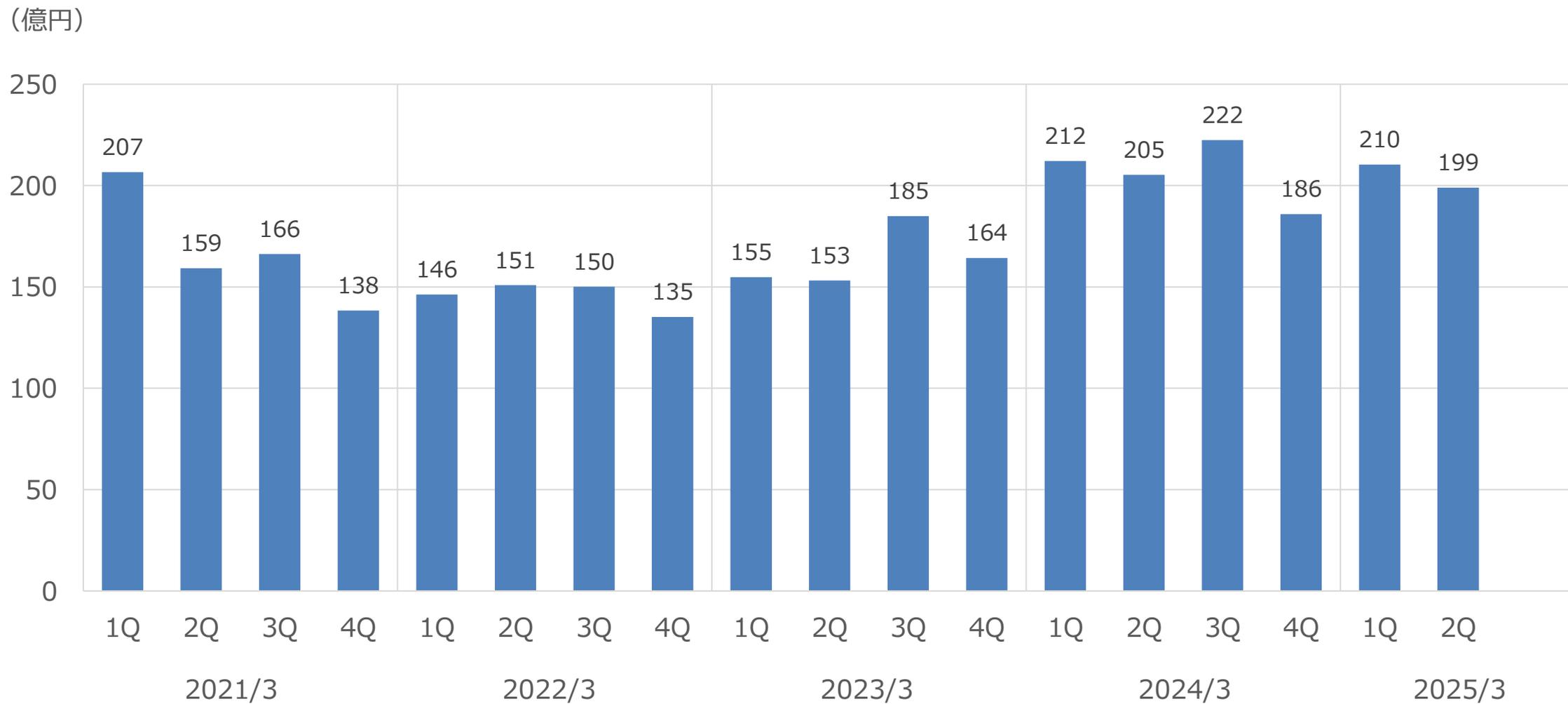


品目別売上高



受注残高の推移





通期業績見通し

(単位：億円)

		2025/3 上期実績	<2Q修正> 2025/3 下期計画	<2Q修正> 2025/3 通期計画	2024/3 前期実績	差額	前期比
受注高		734	476	1,210	991	219	122%
売上高		501	632	1,133	1,043	90	109%
営業利益		13	54	67	49	18	137%
経常利益		14	54	68	68	0	100%
親会社株主に帰属する 当期純利益		10	51	61	46	15	131%
平均レート (円)	US\$	152.30	140.00	146.62	144.40	/	/
	EUR	165.46	150.00	158.33	156.80		
期末レート (円)	US\$	142.73	140.00	140.00	151.41		
	EUR	159.43	150.00	150.00	163.24		

(単位：億円)

	2025/3 上期実績	<2Q修正> 2025/3 下期計画	<2Q修正> 2025/3 通期計画	2024/3 前期実績	差額	前期比
日 本	201	133	333	337	△3	99%
北 米	63	54	116	97	19	120%
(百万ドル)	(41)	(39)	(80)	(67)	(12)	(118%)
欧 州	129	141	271	216	55	125%
(百万円)	(78)	(93)	(171)	(138)	(33)	(124%)
中 華 圏	113	63	176	159	17	110%
そ の 他 地 域	229	85	314	183	131	172%
合 計	734	476	1,210	991	219	122%

(単位：億円)

	2025/3 上期実績	<2Q修正> 2025/3 下期計画	<2Q修正> 2025/3 通期計画	2024/3 前期実績	差額	前期比
枚 葉 機	369	218	587	508	79	116%
輪転機・証券印刷機	174	29	203	127	76	160%
保守・部品修理	107	130	237	206	31	115%
DPS・PE・その他	85	98	183	150	33	122%
合 計	734	476	1,210	991	219	122%

(単位：億円)

	2025/3 上期実績	<2Q修正> 2025/3 下期計画	<2Q修正> 2025/3 通期計画	2024/3 前期実績	差額	前期比
日 本	155	201	355	346	10	103%
北 米	38	45	83	117	△34	71%
(百万ドル)	(25)	(32)	(57)	(81)	(△24)	(70%)
欧 州	105	148	253	228	26	111%
(百万円)	(63)	(97)	(160)	(145)	(15)	(110%)
中 華 圏	85	98	184	183	1	100%
そ の 他 地 域	119	139	258	169	88	152%
合 計	501	632	1,133	1,043	90	109%

(単位：億円)

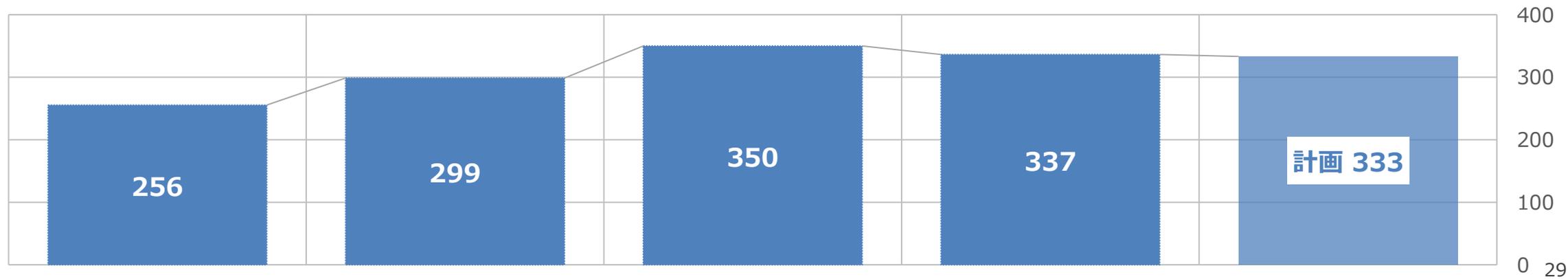
	2025/3 上期実績	<2Q修正> 2025/3 下期計画	<2Q修正> 2025/3 通期計画	2024/3 前期実績	差額	前期比
枚 葉 機	236	326	561	555	7	101%
輪転機・証券印刷機	88	84	172	107	65	160%
保守・部品修理	102	117	219	210	9	104%
DPS・PE・その他	76	104	181	171	10	106%
合 計	501	632	1,133	1,043	90	109%

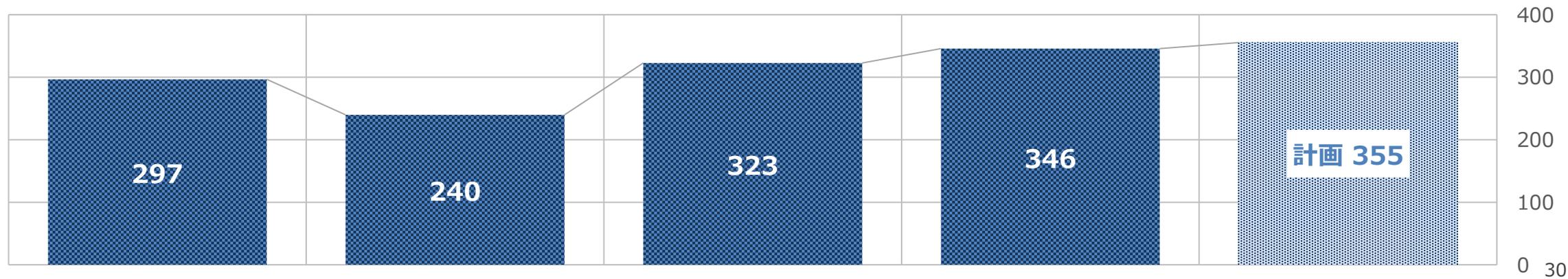
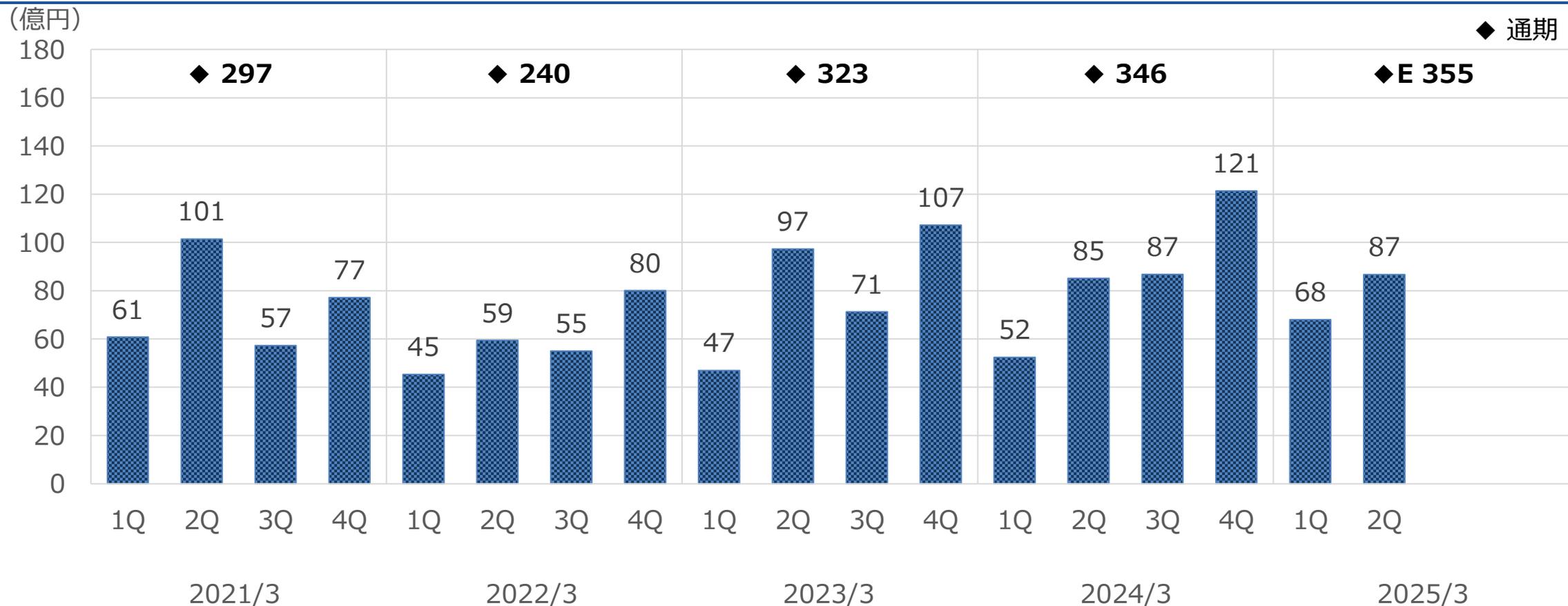
(単位：百万円)

	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3 上期	2025/3 予想
従業員数（名）	2,686	2,613	2,567	2,562	2,647	2,680
人件費	20,199	22,122	23,246	24,656	13,143	26,200
設備投資額	1,394	2,371	2,303	1,997	1,053	3,000
減価償却費	1,604	1,877	1,896	1,968	1,096	2,100
研究開発費	4,002	4,050	3,654	3,734	1,941	4,100
(売上高比)	(5.6%)	(4.6%)	(3.7%)	(3.6%)	(3.9%)	(3.6%)

参考資料

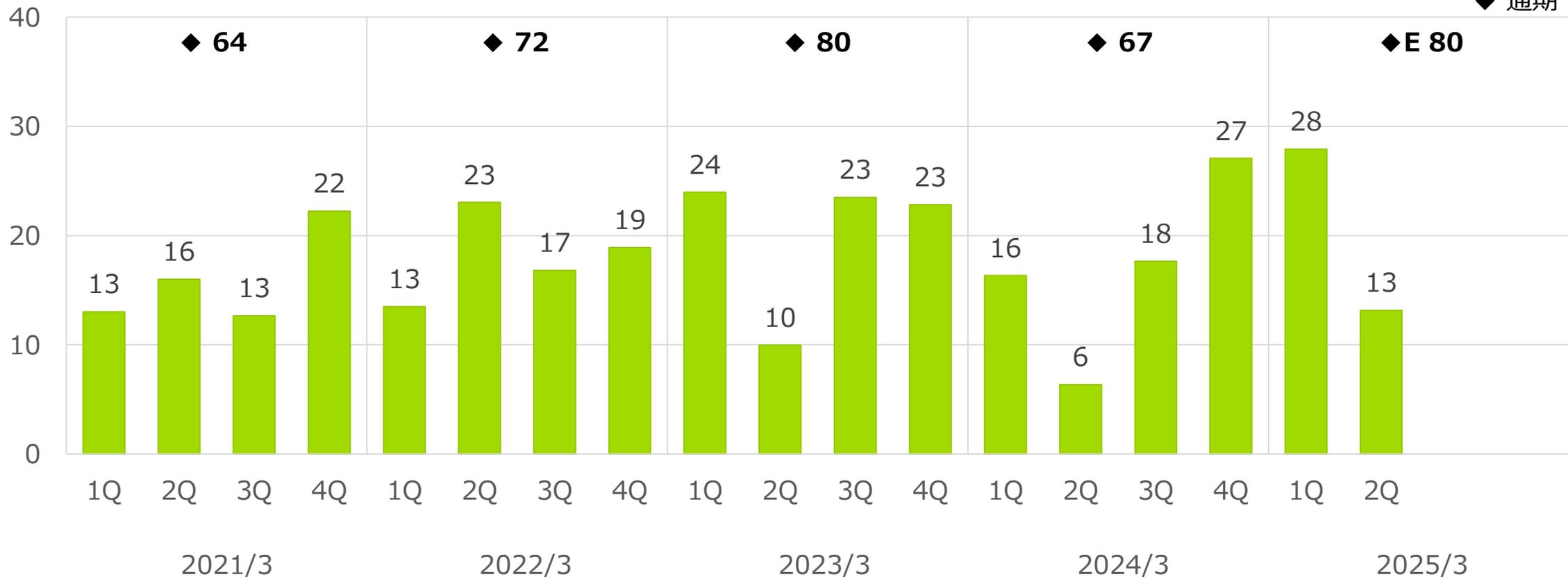
(受注高・売上高 詳細)





北米 受注高

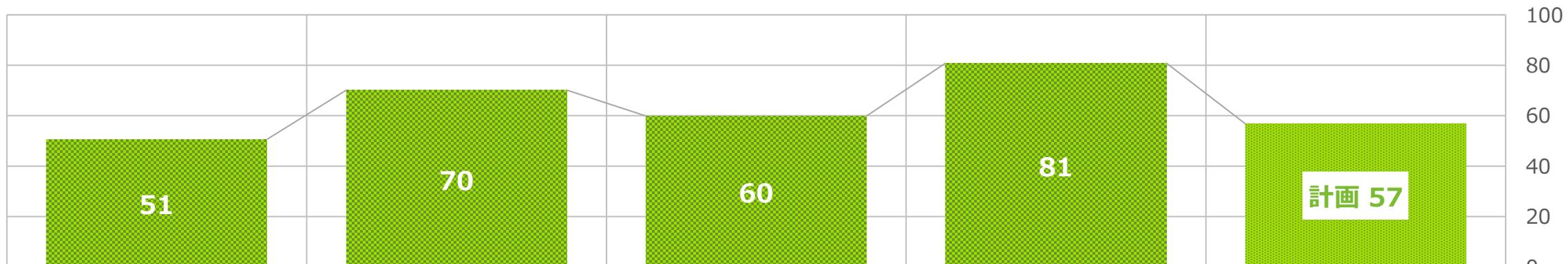
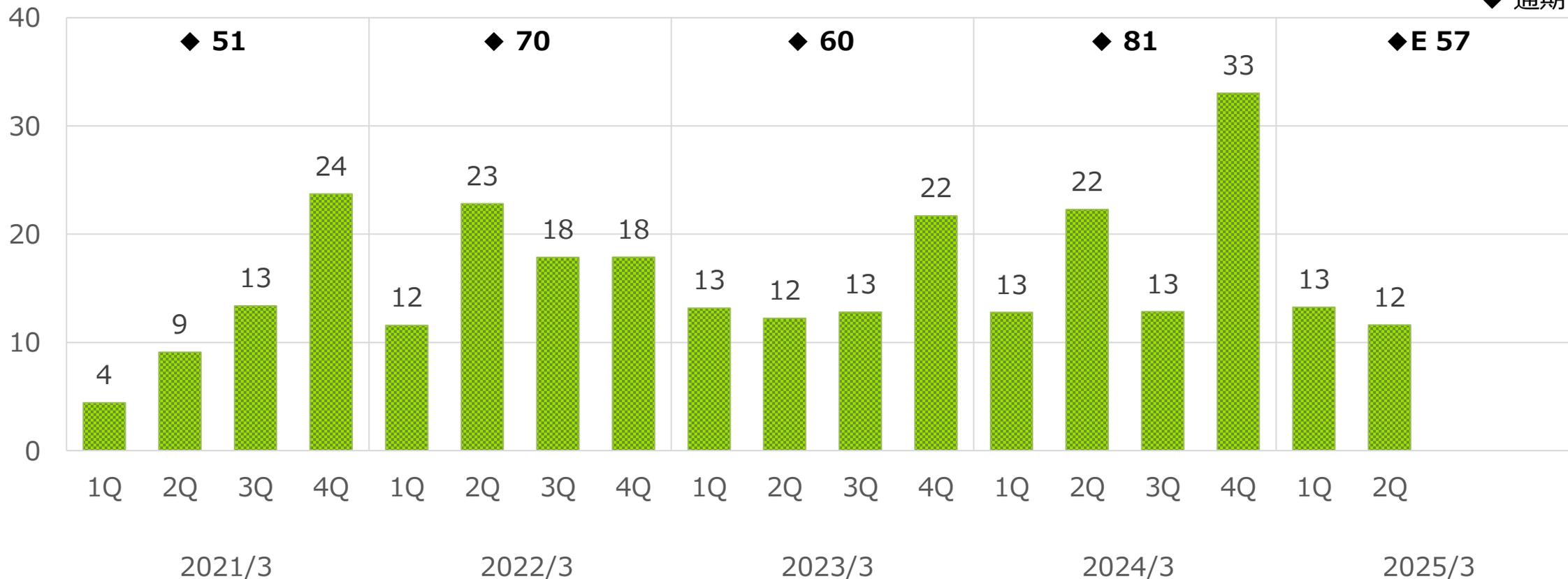
(million \$)



北米 売上高

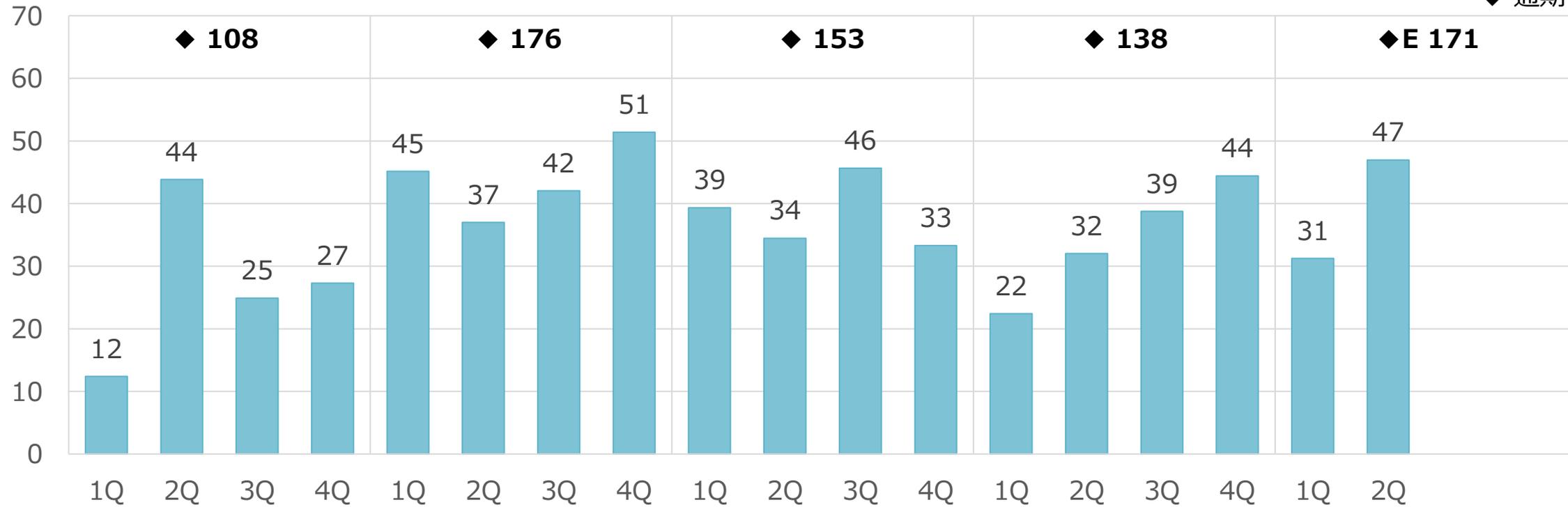
(million \$)

◆ 通期



(million EUR)

◆ 通期



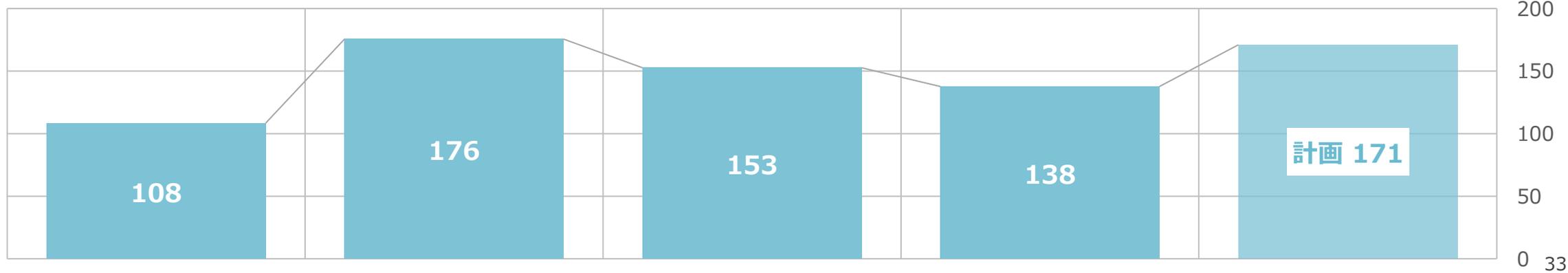
2021/3

2022/3

2023/3

2024/3

2025/3

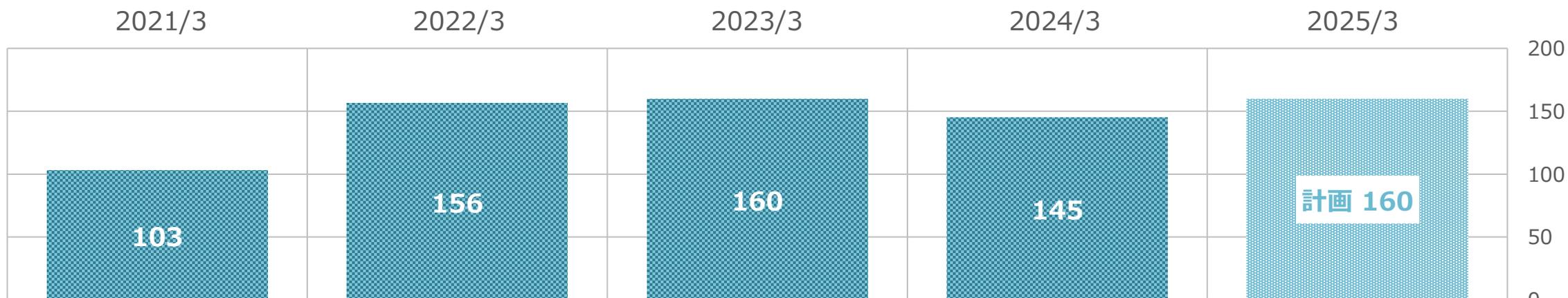
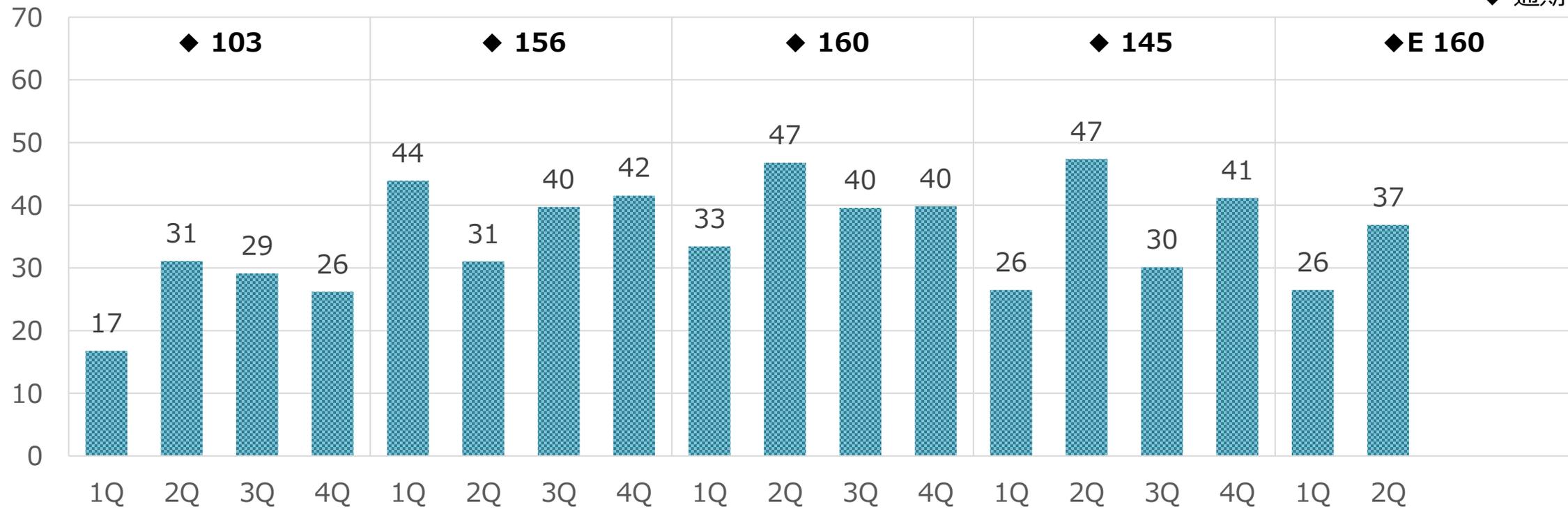


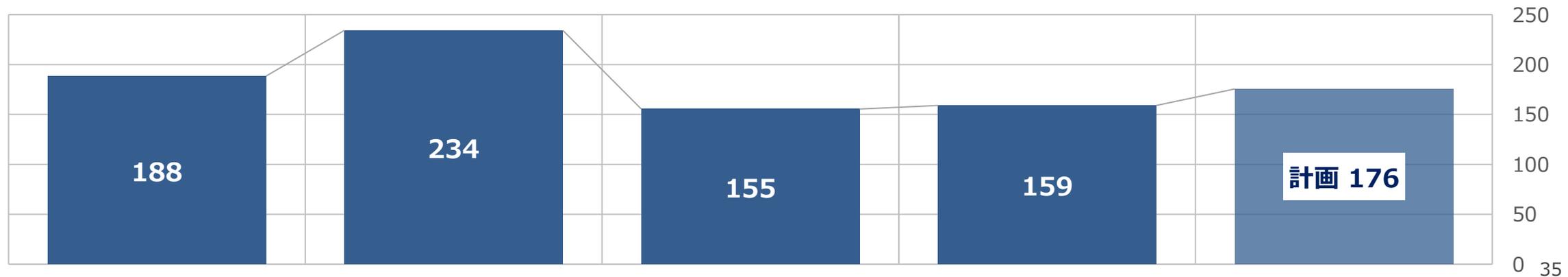
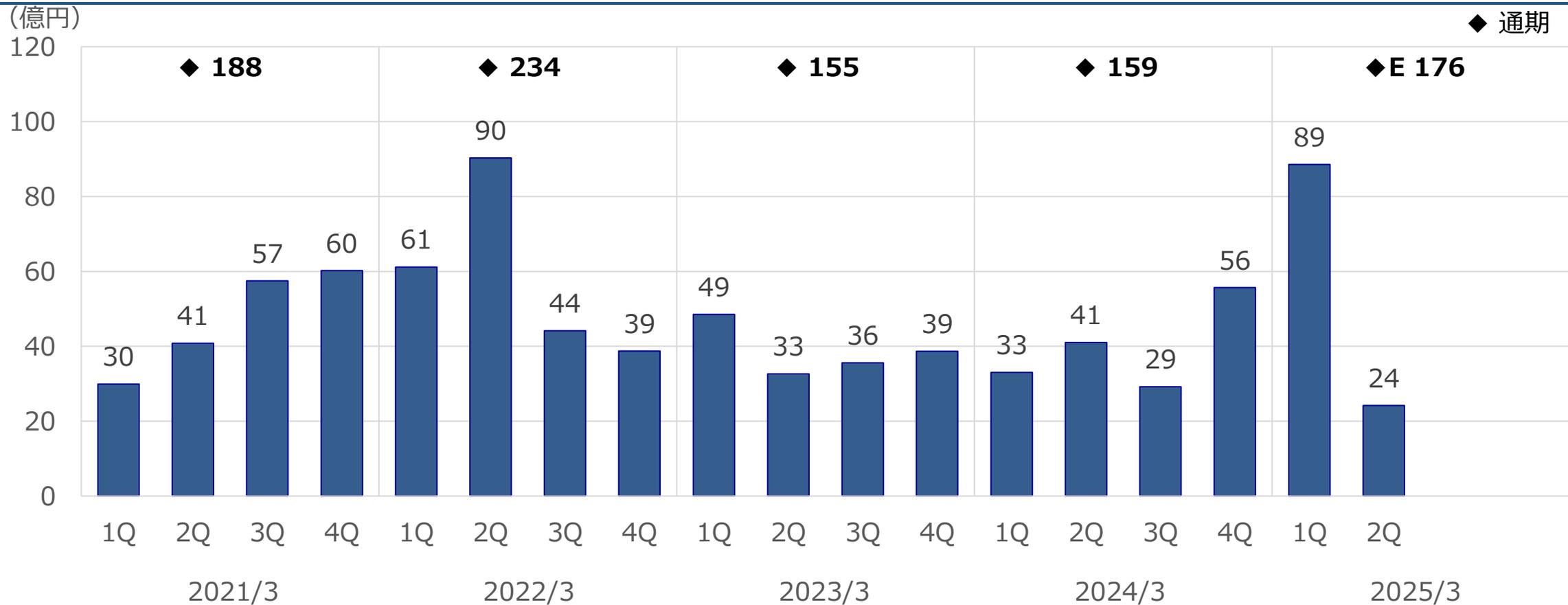
200
150
100
50
0 33

欧州 売上高

(million EUR)

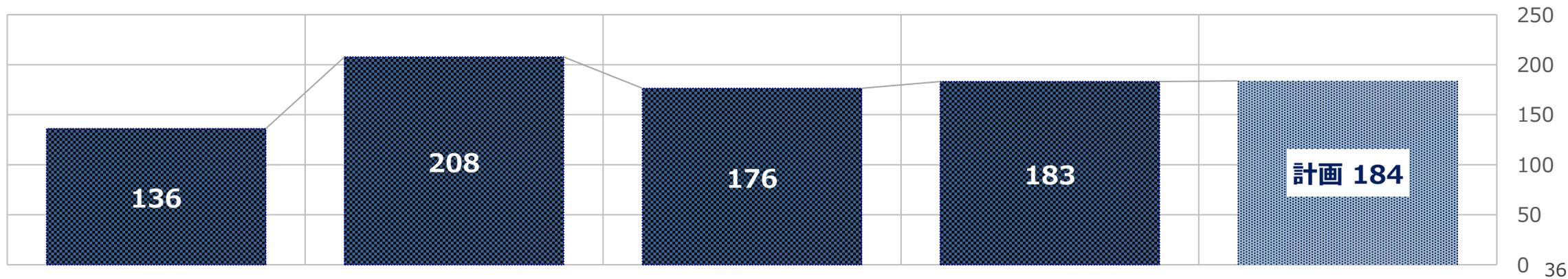
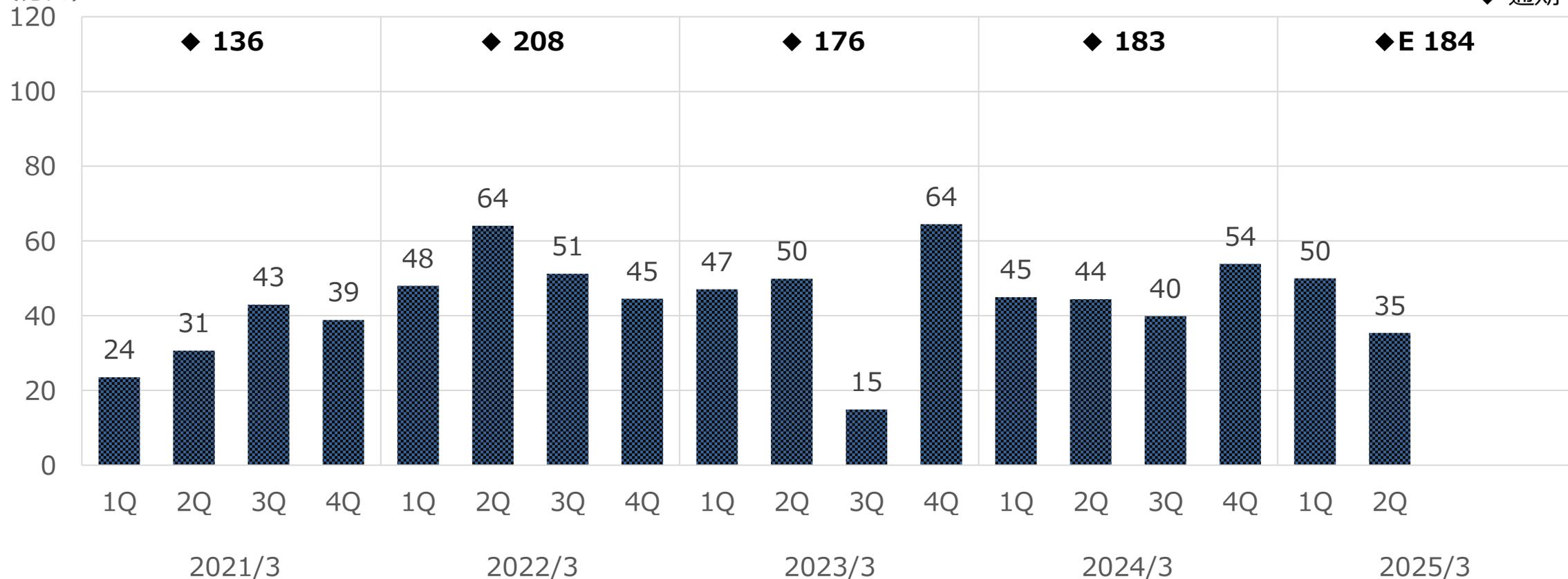
◆ 通期





(億円)

◆ 通期

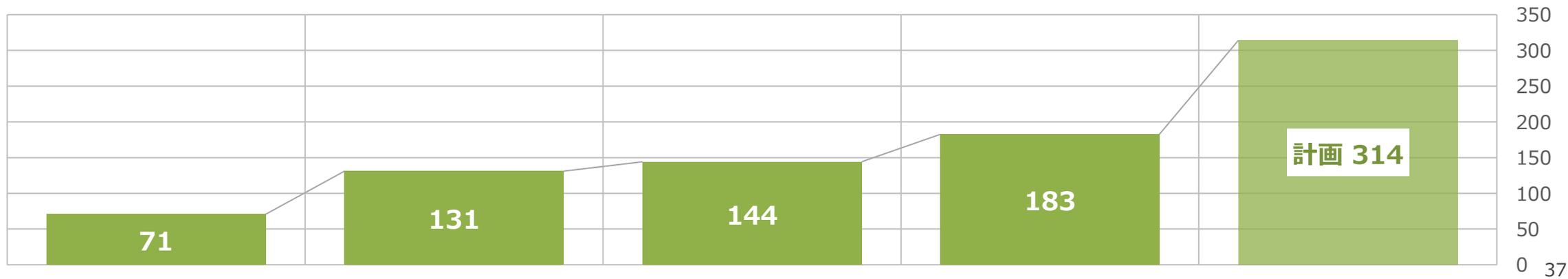
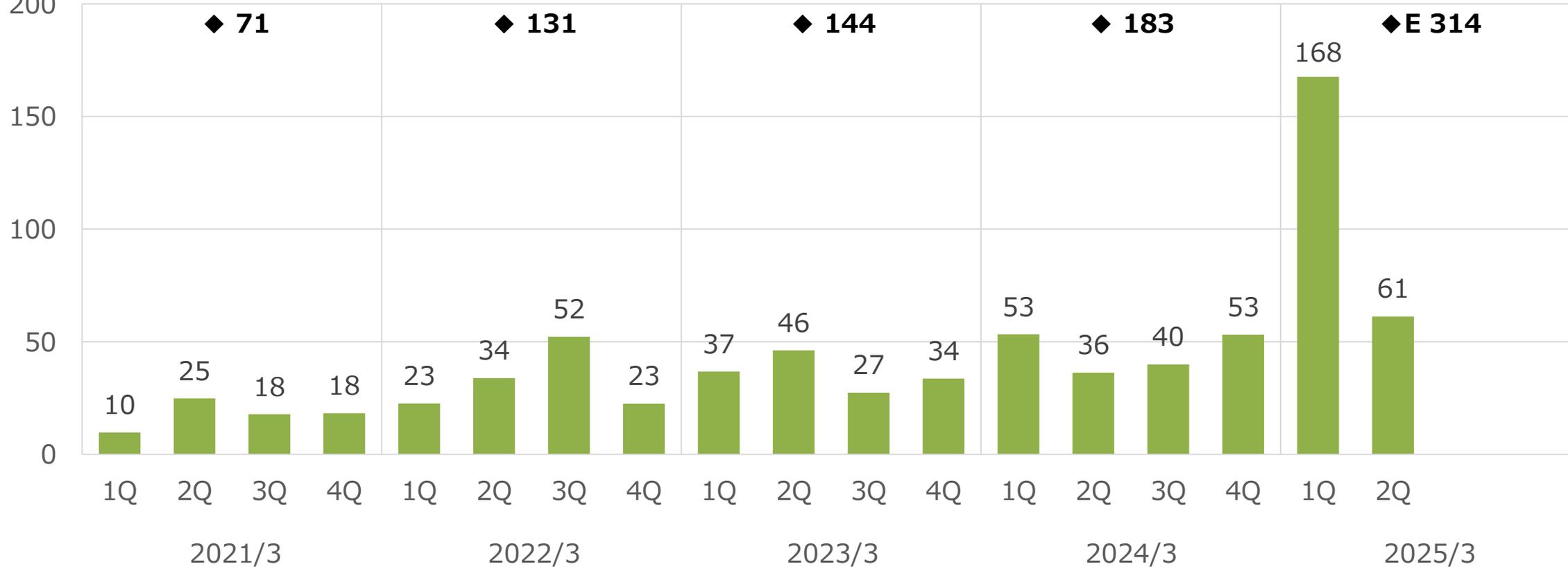


その他地域 受注高

(億円)

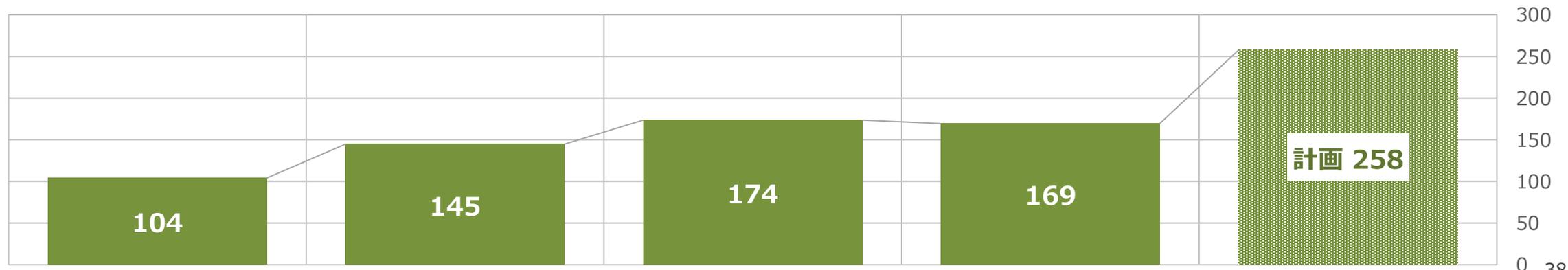
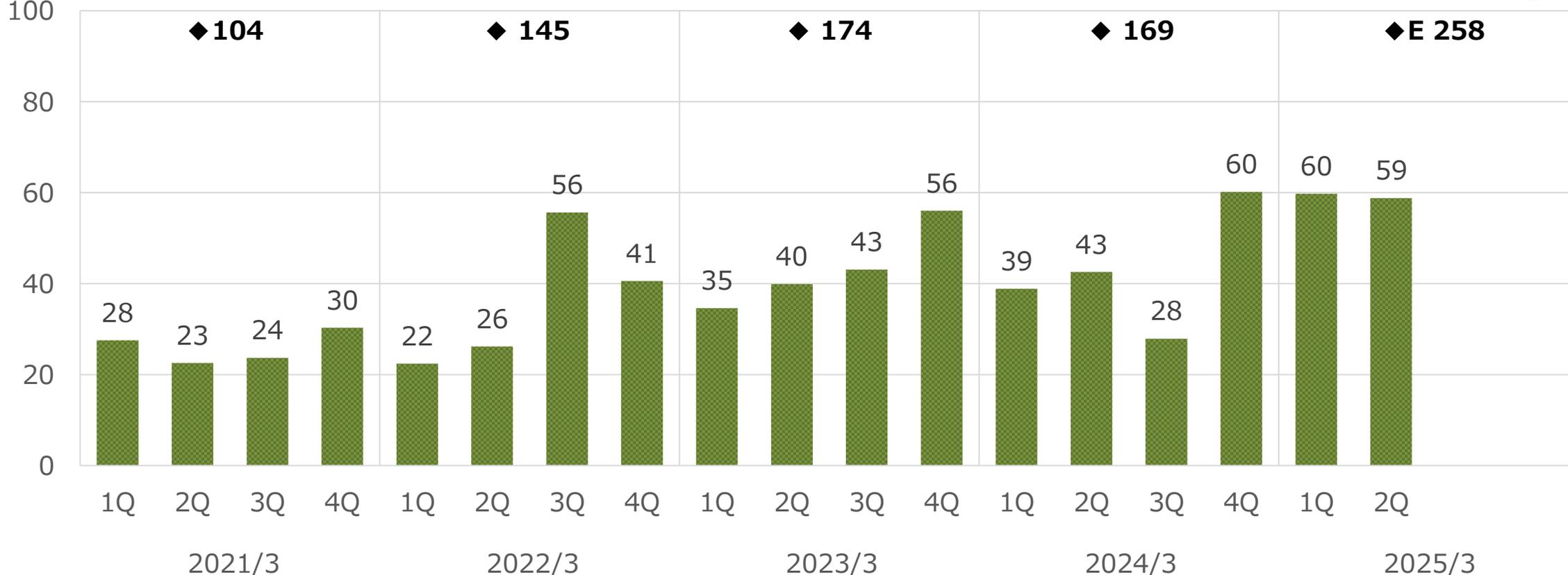
200

◆ 通期



その他地域 売上高

(億円) ◆ 通期



2025年3月期（79期）上期決算説明資料

経営概況

2024年11月8日

株式会社小森コーポレーション
代表取締役社長（CEO）
持田 訓

Contents

1. 2025年3月期上期実績と下期計画
 - ①各地域市場動向
 - ②上期受注/売上結果と下期計画
2. 2025年3月期重点課題の進捗状況
 - ①drupa2024 に出展
 - ②デジタル印刷機の新型機を発表
 - ③証印事業の国内外における大型受注
 - ④新たなパッケージ戦略
 - ⑤KP-Connectによるスマートファクトリー
 - ⑥KGC リニューアルオープン

	2025年3月期（79期）上期の状況		下期及び今後の見通し	
日本	<ul style="list-style-type: none"> 地政学的リスクの影響を受け材料の高騰、資材及び部材の遅延等未だ、先行きの見えない市場は継続される。 入国規制が緩和されたが中国からの観光客は未だ少なく大量消費は期待できない。薬品・化粧品・電化製品等及び旅行会社、イベント会社、お土産関連の発注は鈍化傾向で期待は薄い。 設備投資はビジネスが動いている主要都市に絞られ、地域の二極化が進み業界の再編が進んでいく。 		<ul style="list-style-type: none"> 10月から郵便送料改訂及び材料の値上げが継続され、更なるコストUPによる収益課題は深刻状況である。 入国規制が緩和されてインバウンド及び国内観光客は増加しているが体験型に変化しており、印刷需要は厳しい状況である。但し、イベントが復活してきており、短納期・小ロットの印刷物が増加傾向である。 生産工場の省人化・生産性向上をする為に、ダウンサイジングによる設備投資もしくは補助金による設備更新の導入が増加しており、印刷業界は更なる設備力による二極化が進行していく。 (M&Aによるグループ再編が増加傾向) 	
北米	<ul style="list-style-type: none"> 大統領選挙の見極めに伴う経済先行きの不透明感から製造業は設備投資を控える傾向が続いた。 		<ul style="list-style-type: none"> 金利の動向により設備投資が活性化することを期待するが、商業印刷向け商談は引き続き停滞する見通し。パッケージや特殊な印刷（カード類やデジタルでは対応できない付加価値の高い印刷物）は一定量の需要がある。 	
欧州	<ul style="list-style-type: none"> 主要マーケットであるドイツ、フランスは過去最低の水準、欧州各国では差があるものの経済状態はほぼ横ばいで推移。 本年開催された世界最大印刷機材展drupaにより需要が一部回復、各メーカー大きな受注残を獲得している。 		<ul style="list-style-type: none"> 印刷機需要は依然弱いですが、メジャーなパッケージ印刷向けは堅調である。ミドルレンジの印刷業は国の補助金、特別税制などを活用した設備投資が拡大していく見通し。 	

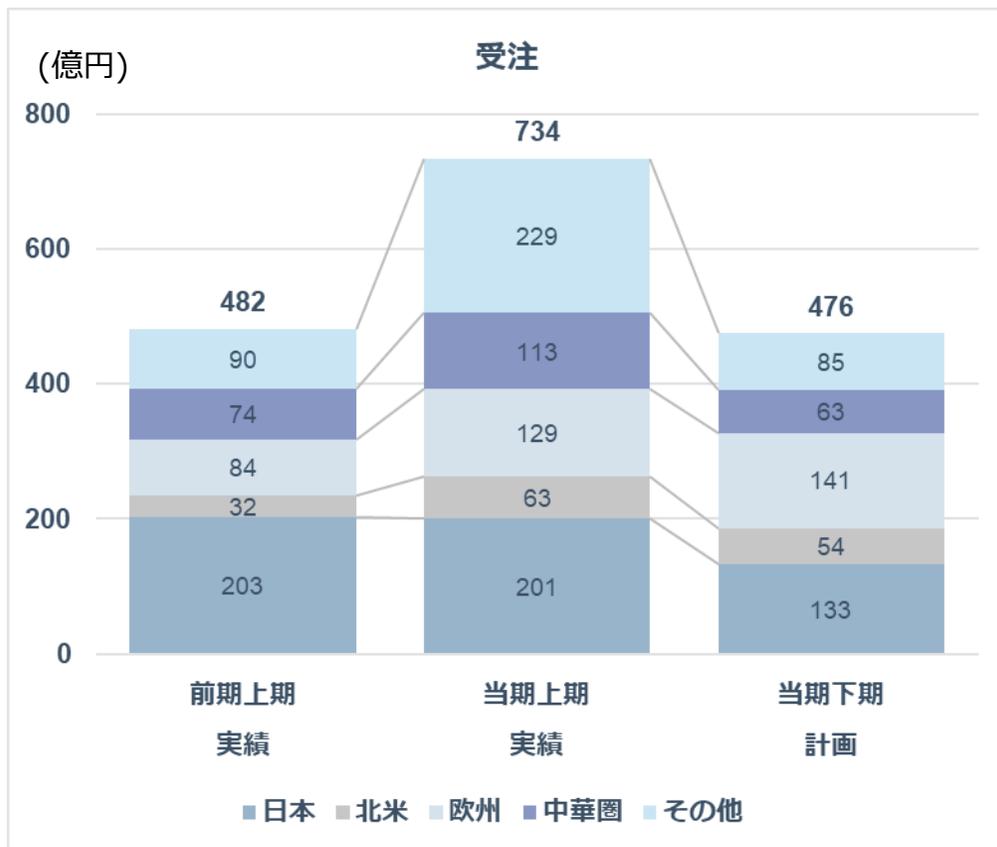
	2025年3月期（79期）上期の状況		下期及び今後の見通し	
中華圏	<ul style="list-style-type: none"> 経済成長は鈍化しているが24年1-7月期の印刷業の輸出出荷額は前年比10.5%と増加。今年に入ってから月ごとに増加が加速しており輸出はやや回復傾向。 商業印刷オフセット需要は減少する一方、パッケージ向けのオフセット印刷機需要は堅調で設備投資は増加傾向。 		<ul style="list-style-type: none"> 印刷業はW2Pの大手印刷会社を中心に高い付加価値を求め、付加価値印刷、自動化設備、設備合理化、省人化が進む見通し。 パッケージ分野では多色化が進んでおり、オフセット印刷機も大型の印刷機の需要が増加する見通し。 	
インド	<ul style="list-style-type: none"> 経済状況も順調であり、政府系の出版物増加にともない商業印刷機の需要が増加。 パッケージ印刷機の需要は引き続き堅調。 		<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き堅調な経済成長が続く見通し。 政府系の出版物は依然として増加、合わせて設備合理化、生産性向上の需要も拡大する見通し。 パッケージ印刷機の需要は依然として底堅い。 	
その他	<p>【アジア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ASEANはベトナムとインドネシアが好調。 <p>【中南米】</p> <ul style="list-style-type: none"> メキシコ、ブラジルが市場の中心であり仕事量も確保し、購入意欲も強いが、金利も高く資金調達に苦労している。 		<p>【アジア】</p> <ul style="list-style-type: none"> アジアの主力である韓国が一服感。ASEAN各国も上期ほどの勢いはない見通し。 <p>【中南米】</p> <ul style="list-style-type: none"> 円安が続けば設備投資意欲も増加し、市場拡大が見込まれる。 	

	2025年3月期（79期）上期の状況		下期及び今後の見通し	
証 印 事 業	<ul style="list-style-type: none"> 紙幣印刷への需要は引き続き堅調で、各国で入替や新工場建設のプロジェクトが進行。 パスポート等の諸証券印刷機の引合いも、増加傾向にある。 		<ul style="list-style-type: none"> アジア、北米、アフリカを中心に設備投資は底堅い見通し。 新工場建設を計画している国が複数あり紙幣需要は継続。 24時間フル稼働のための機械納入後の、リモート対応、操作指導などの要請増加が見込まれる。 	
D P S 事 業	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、熟練技術者不足が深刻化しており、比較的容易に生産が可能となるデジタル機への需要は堅調に増えている状況。またインクジェット関連技術の発展により紙サイズの大型化や印刷品質の向上が図られており、デジタル印刷の裾野が延びてきている。 本年開催された世界最大印刷機材展drupaにおいて、様々なベンダーから最新デジタル機械の発表が行われ注目を集める。 		<ul style="list-style-type: none"> 熟練技術者不足に加えて、印刷物の多様化、少部数化は原材料、エネルギーコスト高止まりといった背景もあり、一層進むものと予想され、そういった課題の解決を担うデジタル印刷機の需要は今後も増すものと予想。 	
P E 事 業	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンやパソコン（PC）市場の低迷が継続する中、電装化が進む自動車関連市場は好調に推移。 生成AI需要により、AIサーバー投資が活況な一方で、汎用サーバーの投資回復は2025年以降となる見通し。 		<ul style="list-style-type: none"> 米中貿易摩擦を回避する目的で、中国から東南アジア等への生産工場移転が進むものと見込まれる。 EVを中心とする自動車市場の好調は継続。 電子機器市場の回復や、電子部品の高集積化に伴う、部品/基板の微細化技術の進展などにより、今後の実装関連市場は大きな成長が期待されている。 	

- ◆ 上期は主に海外の受注が大きく伸び、売上も堅調に推移
- ◆ 下期は欧州以外の受注が伸び悩む見通しですが、売上はすべての地域で増収となる見通し

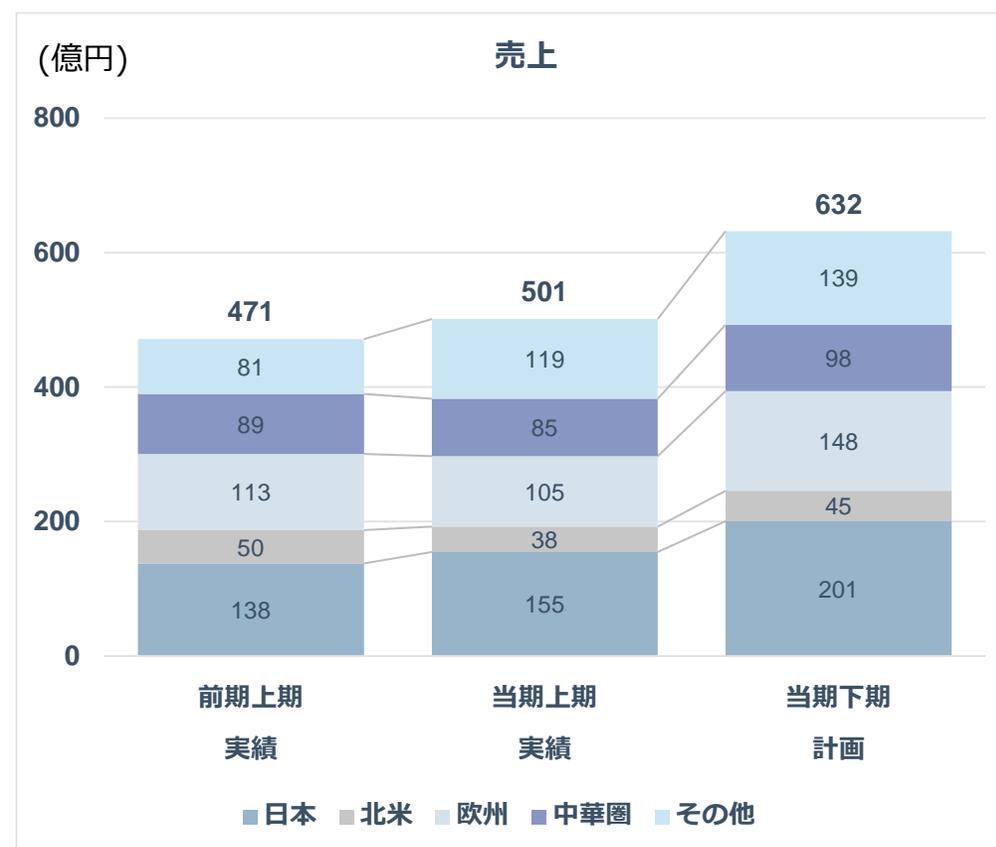
受注高

上期実績：734億円（前年同期比：152%）
 下期計画：476億円（上期比：65%）



売上高

上期実績：501億円（前年同期比：106%）
 下期計画：632億円（上期比：126%）



◆ 世界最大の国際展示会『drupa2024』での成功

- 2024年5月28日～6月7日にドイツで開催された『drupa2024』に出展
- 環境配慮型オフセット印刷機：LITHRONE GX/G advance EX Edition とデジタル機の新モデルを発表
- 中国のお客様からの複数台契約の受注をはじめ、インドはパッケージ印刷機の受注拡大など、世界各国のお客様から多くの受注を獲得



◆ drupe2024 にてクラス最速のデジタル印刷機『J-throne 29』を発表

- 高速 & 高精度な搬送技術を搭載した次世代型B2枚葉UVインクジェット印刷機
- KOMORI独自の画像形成技術を採用、専用インクにより幅広い種類の用紙への印刷が可能
- 特別なスキルを要求しないイージーオペレーションによる人材採用へのソリューションを提供

J-throne 29



◆ コロナ禍明け後、累計で約200億円の大型受注

- 2023年4月から2024年6月にかけて、日本、バングラディッシュ、カナダ、インド、ベトナム、南アフリカなど計10カ国より累計約200億円を受注
- KOMORIの偽造防止を含む印刷技術、及び生産設備が各国政府機関に認められたとともに、長期に渡りサービスを安定提供できる当社の財務基盤の強さも評価



◆ 2つのM&Aにより成長するパッケージ市場における競争力を強化

- KCM (Komori Chambon S.A.S.) は今年4月に北米有数のロータリーダイツール・メーカーであるBernal社の事業譲渡に続き、今年9月にフレキソ印刷機の開発・製造の技術と実績を有するCPS社 (Canadian Primoflex Systems.Inc社) を買収
- 3社間で互いの顧客に印刷技術を提供するほか、KCMの技術をCPS社に提供し高速化や自動化で付加価値の高い製品を開発を目指す

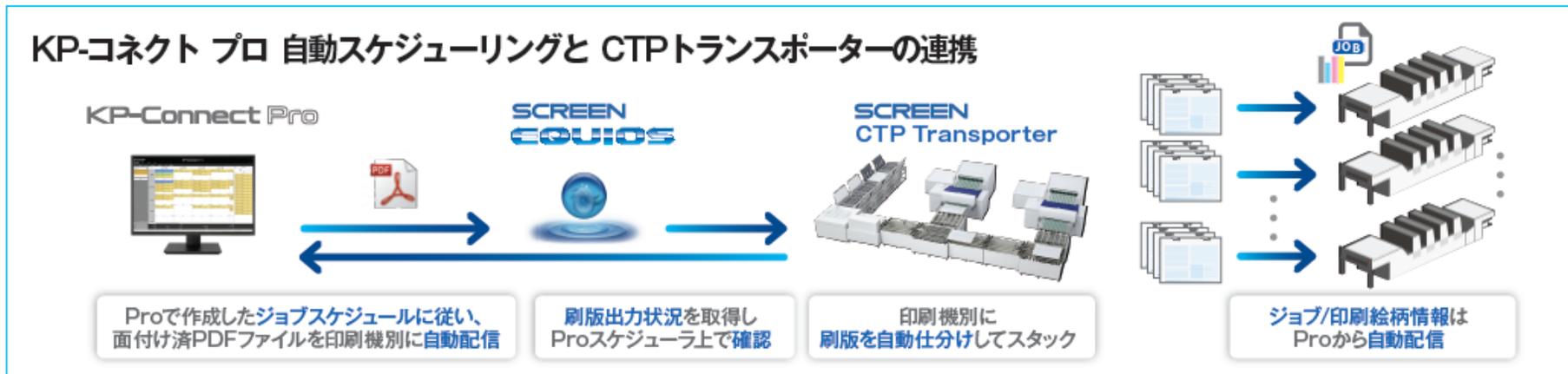


◆ SCREENグラフィックソリューションズ 社との連携強化によりプリプレスの自動化ワークフローを実現

ジョブの
面付処理の
自動化を実現

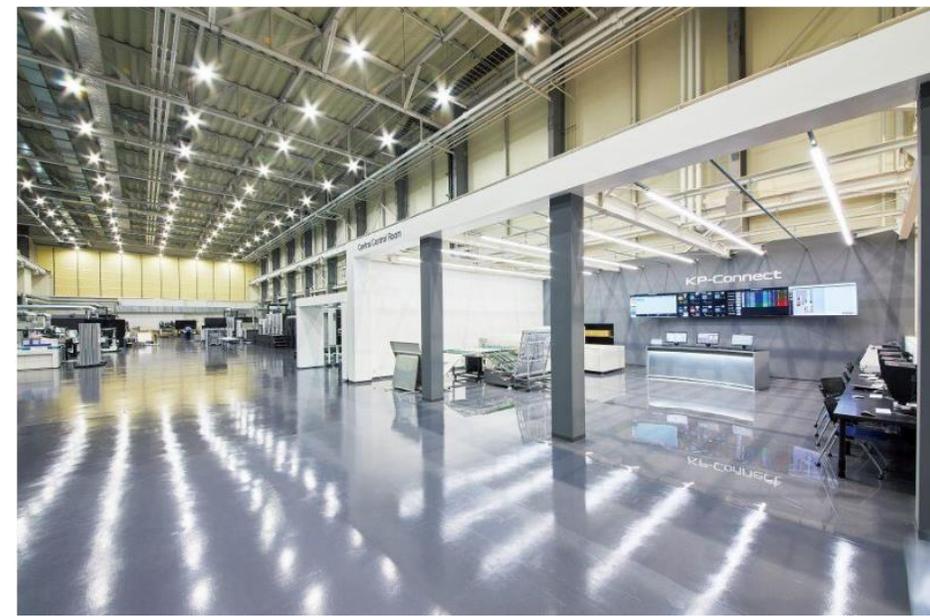


刷版出力と
刷版仕分けの
自動化を実現



◆ KP-Connect による「印刷工場のスマートファクトリー」を再現

- KP-Connectを中核として、スケジューリング、プリプレス、プレス（オフセット印刷・デジタル印刷）、ポストプレス、カラーマネジメント、品質検査、構内物流、に至る全印刷ワークフローを自動化連携
- 印刷にかかわる全工程の作業進捗状況をリアルタイムに監視する「中央管制室」
- 「印刷会社」「アライアンスパートナー」「KOMORI」が一体となり印刷工場の生産性を最大化する「オープンイノベーションハブ」としてリニューアルオープン



KOMORI

- ※ 当資料に含まれている業績予想等は、本資料の現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
- ※ 当資料では表示未満単位を四捨五入して表示しており、内訳と合計が一致しない場合があります。